夕刊 滿洲日報 七月八日

四派首腦部北平に會合 愈よ諸重要案件を協議

外遊、編遣、西北問題等につき 結果を重大視さる

【北平七日發電】馮氏の條件を帶びた馬福祥氏は既に來平、張學良氏も七日夕着平したので蔣介石氏は國民政府首席の資格を以て八日より蔣、閻、馮、張四派首腦部に依る全國善後大會を開くことゝなつたが其の內容は

閻馮外遊問題 閻氏は北支の重鎭なるを以て正式に慰留する、馮氏は外遊の場合は充分敬意を表すると云ふに決せん

西北問題 西北四省の軍政一切の善後策は其の實行方法を閻氏に一任さるべし

編遣問題 馮軍の改編移管を詮議し次で山西、東三省各軍の縮小整理を實行すべく其の具體方法は過般の編遣會議の決定を基礎とし特に其の實行方法を討議する

以上の外西北政府改組問題等重要案件尠からず、軍事方面は本會議を以て全國軍憲を統一し國民政府首席の下に直屬せしめんとするもので、その結果は編遣會議以上の重要性を帶びてゐる

物々しき警戒裡に 張學良氏北平到着

【北平七日發電】張學良氏は衞隊一千名を率ゐ天津まで出迎へた蔣介石氏代表何世禎氏、閻錫山氏代表朱綬光氏、國民政府代表方本仁氏と共に午後五時十五分一年振りで來平した、之より先午後四時半着平せる張學良氏の衞隊五百名は北平驛から北京ホテルに至る間を機關銃を擬して嚴重に警戒し其の物々しさ敵地に入つた觀あり、蔣閻兩派各要人多數出迎へ裡に北平ホテルに入つた、なほ張學良氏は滯在一週間の豫定で從者衞隊の宿舍として北京ホテルの舊館全部借切り滯在期間中此處に司令部を置くことゝなつたが、北京ホテル新館には蔣介石氏あり、舊館の張學良氏と廊下續きで茲數日間は幾多の重要往復が重ねられるであらう

學良氏先づ閻氏と密議

【北平七日發電】北平ホテルに入つた張學良氏は何成濬氏と閻錫山氏の慰留につき種々協議するところあり、閻錫山氏を病院に見舞はんとしたが閻錫山氏は病を押て北京ホテルに來り六時半から張學良、閻錫山兩氏は人を遠ざけて密議を凝らした、閻氏辭去後張學良氏はドイツ病院に閻氏を見舞ひ更に約三十分密談してホテルに歸つた

蔣氏に苦境を愬ふ

【北平七日發電】北平總商會は今朝一千餘名の代表を北平飯店に派し蔣介石氏に對し國都が南京に移つてから北平の衰微甚だしく商民苦境に在り再び國都を北平に還すか其の他の方法で北平市民を救助され度いと請願した

閻馮兩氏の外遊 遂に十月まで延期

閻氏の相談に馮氏同意

【北平八日發電】閻錫山氏は昨夜ドイツ病院を退院し自宅に歸つたが、蔣介石氏の必死の引留に依り先づ西北軍及び山西軍を整理し約三月の後之が完了を待つて外遊することに決し馮玉祥氏の同意を求めたところ馮玉祥氏も異議なく同意し馮玉祥、閻錫山兩氏の外遊は遂に本年十月までは實現せぬことゝなつた

と東三省の外交諸問題を協議したる後、蔣介石氏の依賴を受けて馮玉祥氏に單獨外遊を勸告するためである

一平民として 太原で靜養

馮氏每日讀書に耽る

【太原七日發電】馮玉祥氏は閻錫山氏外遊中止を聞き非常に驚悵し自身も外遊を思ひ止まり當分一平民として太原に靜養するに決し每日讀書習字に日を送つてゐるが、

王正廷氏 北平に急行

【南京八日發電】王正廷氏は蔣介石氏の招電に依り本日午後北平に急行する筈である、右は張學良氏と蔣介石・閻錫山、張學良三氏の北平集合に對し少からず神經を尖らし馬福祥氏に會議の模樣を報告するやう電命した

車夫事件 解決す

【漢口七日發電】全國的反日運動の主なる原因の一として久しく解決困難であつた車夫轢殺事件は我當局と支那側との間に本日文書の交換を了し解決を見るに至つた、其條件は左の如くである

一、日本總領事より文書を以て死亡の事實に對し同情の意を表すること

二、遺族に對し三千六百弗支出すること

三、該事件發生のため失業せる工人の復業は別に考慮する

右三條件だけであつて保管されてゐた車夫の死體は本日支那側に引渡された、今後の反日運動は支那官憲から告示を出して嚴重取締るはずである

モダン官邸の新舊主人 事務引繼を了つて記念撮影

解散の要求あるも 政府は結局應ぜぬ

對選擧準備未成と貴院關係顧慮 先例無しとの口實で

【東京特電八日發】濱口內閣成立に伴ひ臨時議會の召集を奏請して新內閣の政綱政策を表明し直に衆議院を解散して信を國民に問ふべしとの說は各方面から提唱されてゐるが濱口首相は愼重事に處するを必要とすといふ見地から結局臨時議會は開かぬことに決した模樣である、卽ち解散論は謂ふまでもなく

一、新內閣の與黨は第二黨であるから來議會は當然解散を覺悟せねばならぬ

一、同じく解散するならば政策上今日が最も適當である

一、開かざる議會を解散せる前例は無いが憲法上差支はない、然し此の形式を避くるには特に臨時議會の召集を奏請すれば差支へない

一、要するに孰れにしても現內閣のためには此の際民意に問ふべきである

といふのであつて此等の意見は與黨內にも有力に唱へられ其の他無產黨及び政友會側でも別の意味に於て主張してゐるが濱口首相はじめ政府の首腦部は

一、我帝國議會に於いては臨時議會を召集して政府の信任を問ふが如き慣例は無いこと

一、組閣直後政務多端の今日總選擧に沒頭して國務に支障を來すが如きことは大に考慮を要する

とて難色あり更に貴族院方面に於て議會の解散は努めて之を避くべしといふ意見を持しつゝあるのと政府自體の對選擧準備が未だ出來てゐないために此際解散を斷行する勇氣はないものと見られてゐる

金解禁斷行 準備的政策明示

施政方針の聲明書は 江木鐵相が鎌倉で案文作成

【鎌倉八日發電】政府は九日の閣議にて現內閣の施政方針に關する聲明書を決定する爲め江木鐵相に之が案文を作成せしめつゝあるが江木鐵相は右につき六日來鎌倉海濱ホテルにて文案を練りつゝあり聲明の內容は所謂金解禁問題を中心とした準備時代としての諸政策を遂行するにつき之を具體的に明示せるものであつて、之は準備的諸政策即ち一大緊縮方針に依つて物價の低落を來すとも之に依つて國民經濟の上に之に堪へ得るやう國民の決心を促し金解禁を斷行するとも經濟界に影響なからしめんとするものである、江木鐵相は右案を携へ八日午前歸京各閣僚に案の內容を提示し諒解を求め然る後最後の決定を爲す筈で鐵相は之が聲明書作成の爲め鎌倉に滯在中一回も濱口首相を訪問せず右に專念してゐる

國民一般に節約獎勵

井上藏相が地方遊說

【東京八日發電】現內閣は徹底的緊縮方針を立て以て現下の財界の立直しをせんと意氣込んでゐるが之には單に政府事業の緊縮のみならず國民一般の消費節約に俟つて初めて效果有るものであるとし國民に對する消費節約の宣傳に努めることゝなり井上藏相自ら機會有る每に地方遊說に出掛け節約獎勵に努めることゝなつた

濱口首相歸京

【東京八日發電】組閣後靜養のため七日朝鎌倉由井ケ濱別邸に赴いた濱口首相は八日午前十時三十分鎌倉發十一時四十九分着列車で歸京直に首相官邸に入つた

部長異動 本日發表か

【東京八日發電】地方官部長級の異動につき安達內相は七日午後齋藤內務次官、內ケ崎參與官、大塚三邊、次田各局長を招致し詮衡協議なすところあり八日首相の諒解を得た後勅任は持廻り閣議にて決定し奏任級と共に本日午後三時頃發表のはずである

關東廳實行豫算 編成替への協議

緊縮方針に基いて

政府の緊縮方針に基き關東廳でも四年度に於ける豫算の編成替へをせねばならぬので安藤經理課長は布施理事官、大森主計、土屋屬と共に協議を爲し實行豫算に關する打合せを遂げ大體の根方針を樹てることになつた、右につき安藤經理課長は語る

別に東京電報に傳へられるが如く天引き五分といふことはこちらには通知がない、然し緊縮せねばならぬだらうからその爲め實行豫算の研究をしてゐる

又復膠東一帶に 戰雲低迷す

張宗昌氏を追ひ出して膠東一帶をマンマと手に入れた劉珍年氏は自己勢力擴張のために貪婪飽くなき暴政をもつて良民を苦めてゐるが八日芝罘より入港の永利號乘客のもたらしたところによると、劉珍年氏は自己の地位保持のため自己の友人 **親戚** をもつて膠東各機關の要職に任じ地盤築きに忙殺されてゐるが、最近山東省政府主席委員たる陳調元氏が新しく膠東各縣知事及び芝罘交涉署員を新任し、從來の劉氏が任命した者と交換する樣嚴命して來た、然るに劉氏は自己地盤の崩れるのを恐れその命令に服從せず、暗に陳調元氏に對し敵對行爲に出やうとしたので、端なくも陳軍對劉軍との雲行險惡となり陳調元氏はさきに **服從** した孫殿英氏をして劉軍討伐の兵を起さしめる事となつた

大觀小觀

◇支那側は幣原外交を以て、對支迎合外交と心得てゐるらしい。之が根本的の錯誤。

◇「田中外交は首相の外交、幣原外交は外相の外交」之れだけが差違だと大谷光瑞氏は曰ふ。

◇學良氏、綽躬如として北平に伺候す。歸りは水母のやうになつて來るよと請合ひ。

◇金解禁もいつのことやら判らず滿洲事件も發表の可否講究中とある。在野と在朝でこれだけ豹變する。

◇序に解散も斷念して反對派切崩しでもやれば世話はない。

◇滿鐵の政變で有象無象氏等盛に暗中飛躍しつゝあり。

天氣豫報

九日曇り一時晴れ但し驟雨模樣南東の風

日出四時卅五分日沒七時廿二分

滿潮前十一時五十分午後なし

干潮前五時十五分後六時卅五分

羅馬、東京間 飛行を計畫

【イタリー、ミラン七日發電】イタリー飛行家コンマンダント、マツダレナはローマ東京間飛行を企て途中二回だけ着陸する豫定であると

近く開かれる市會で 議長問題を論議

四圍の情勢より見て 結局滿鐵側から選出されん

助役問題に頓挫して其儘三顰みの形となつて終つた大連市會は其後殆ど無風狀態で推移して來たが、過日の參事會で前助役以下の退職**慰勞會**が決定したので當然近く市會が開かれることとなり必然的に村田前市會議長の後任問題から再び助役、收入役、社會課長の後任問題が論議される氣運が濃厚となつた、石本市長は右について「慰勞金に關する市會は遲くも本月中に開會するからその際議長は市會自らが決定するであらう、その上で助役收入役の問題もなるべく早く解決したいと考へてゐる」と云つてゐる、目下噂となつてゐる議長の候補者は革新派では大內威美氏**擁護派**では恩田熊壽郎氏、滿鐵側では牛島、二村、金井の三氏であるが、大內議員の就任は當人自らとしても、亦市會の形勢から見ても困難であり、恩田議員は擁護派が自派から議長を出すの意志乏しく、寧ろ議長の椅子を他に讓つて市會の行詰りを好轉せんとする風があるので實現性薄く大體に於て空氣は滿鐵側より選出するに傾いてゐる、しかし滿鐵側としては直に之に應ずる模樣はなく、三議員とも一應辭退する形勢にあるが、市會の現狀を救濟し、各種の**案件を**解決するためには議長の椅子まで空けて置くことは出來ぬ情勢にあるので結局牛島、金井、二村の三議員中より選ばれると想像され、助役其他の問題も議長決定と共に意外の進展を見るかも知れぬ

山崎本社長 明朝歸社

上京中であつた本社長山崎猛氏は明九日入港のうらる丸で歸社する

州內沿岸の水路調査終了す

竹內大佐けふ內地へ

海軍水路部水路大佐竹內輝次氏は關東州沿岸の水路調査を終へて八日大連出帆のはるびん丸で歸任の途に就いたが氏は語る

私は朝鮮における大同江、鴨綠江の水路、水量の調査及び關東州の沿岸に如何なる變化を來したかを調査のため來滿したものである、海軍では必要としないものでも復州、貔子窩、長山島等の堆積出地の沿岸水路等は民間に極めて重大な關係があるから一通り調べた、また關東州は最近船舶の碇泊地が非常に多くなつたので之も調査した、州內の航路標識の問題については直接海軍としては必要ないかも知れないが、私達の調査が大きい力となる事は事實である、要するに案外非生產的な海軍側で行つた水路調査が如何なる形であらはれるか見てゐて頂きたい

小學生の水泳始まる

—けさ常盤小學校前でうつす—

水產事件愈よ擴大 關東廳に飛火か

花柳界方面の取調べで贈賄暴露 續々證人呼出を喰ふ

滿洲水產會社および關東州水產會の不正事件で緊張し切つてゐる檢察局では八日も池內檢察官は午前十時より逢坂町一五〇貸座敷末廣樓主井村勝太郎及び同町一四八貸座敷千代喜家仲居水田キクヲに昭和二年および同三年の水揚帳を持參出頭を命じ、先づ井村より檢察官室において山崎書記立ち會ひ證人として正午まで訊問し種々

證言を

徵し、更に水田を呼び入れ同樣證言を徵した、事件はいよ／＼關東廳にも飛火したもの〻如し昭和二年十月十七日老虎灘稻荷山に祠の建立された祝賀式の當夜より某々等はその地位を利用し水產會社の佐治、川上等に買收されまた之を奇貨とし、今日まで十數回に亙り前記末廣樓並に千代喜家において遊興の贈賄を受けたもので、本日井村および水田が持參した帳簿並に本人等の訊問によつて

明瞭こ

なつた模樣である、要するに之等は數日來取調べてゐた待合「よし家」同「千草」よりの送り込み並に藝妓等の證言その他によつて端緒を得たもので尚待合新喜樂等よりも送り込みを行つてゐるとの事である、池內檢察官は之れ等の事情を一層明瞭にする爲め更に同一時三十分より前記某々等の係り仲居であつた末廣樓の中村マツおよびその抱娼になつた藝妓秀勇、君勇、千代丸等を證人として續々呼び出し訊問を進めてゐる

父兄會代表 陳述書を提出す

けふ吉野地方課長と會見 公學堂兒童毆打事件

旣報沙河口公學堂の兒童毆打事件は父兄側に於て從來からの學校當局に對する鬱積せる不平もあつて益々深刻化し六日父兄會を開いて種々學校當局の冷淡不親切な態度を攻擊し大に氣勢を擧げたが、八日午前十時左の如き要領の陳述書を持つて父兄會長孫午蓮氏ほか十數名民政署に

押寄せ

吉野地方課長に面會して種々陳述するところあつたが、慰撫されて一先づ引下つた

一、從來學校當局は父兄側に對して冷淡で能く連絡を圖らず卒業式學藝會等にも招待しない

一、昨年十月同校初等科四年女生奕桂香及び夏譚三、同二年女生張小玉が危く誘拐されんとしたるの〻其因は學校の不親切に發する事

一、今春同校教員張元德は盧賢德の長男を毆打負傷せしめたこと

一、同校父兄は大抵附近の百姓及び一般貧しき者が多く從つて生徒の服裝も貧しいが同校教員の中には往々お前等は苦力の樣に汚いと侮蔑的言辭を弄する事

英帝御快癒 感謝祭執行

【ロンドン七日發電】英國皇帝ジョージ五世陛下御恢復の感謝祭は本日ウエストミンスター寺院にて行はれ皇帝陛下はじめ各皇族御參集大鉦嚴かに鳴らさる〻裡に監督の禱りあり一同國歌を合唱した

馬賊逮捕演習

大連署においては七日午後十時を期し今夜午後八時千代田廣場の支那人兩替店に馬賊闖入金子五千圓を強奪逃走したりとの强盜手配を市內各派出所並に獨身宿舍に通達し高山署長を初め主任級一同出署、非常召集を行つたが、右は最近事件なく署員一同の意氣が緩んではとて豫告せず突然非常召集演習を行つたものである

教育會對抗競技 州內選手の豫選

きのふ旅順で行はる

南滿洲教育會にては來る九月廿周年記念のため州內外對抗陸上競技を擧行するので七日午後一時から州內初等部の豫選を旅順グラウンドで行つた、參加者廿五名で藤田學務課長、市橋、村上兩視學、山本主事、岡澤指導員、旅順第一中學平田、第一小學高橋、第二小學古賀の各學校長、山口公學堂長に大連からは岡本、倉井、松原三學校長列席、競技の結果左の如く選手を決定した

百米(石田、佐藤、趙)▲二百米(石田、佐藤、趙)▲四百米(石田、松尾、三岡)▲一千五百米(石田、鞠、靑島)▲砲丸(仲村、松本、常岡)▲圓盤(常岡、中村、中谷)▲走巾跳(杉山、松本、佐々木)▲走高跳(杉山、横尾、坂本)

なほレコードは對抗上發表せぬと

救出の褚玉璞氏も 絕對大連に上げぬ

ヤット高松丸で明朝着連するが 水上署で嚴重警戒

牟平の戰ひに敗れ、劉珍年軍に幽閉さる〻こと三ケ月に及んだ元山東省督辦褚玉璞氏にも漸く更生のときが來た、六日夜、褚氏連れ出しに芝罘に向つた高松丸は既に芝罘に到着、目下珍軍と種々交渉中であるといふが、同志は既に約束の五十萬元を携帶して行つた事であるから、無論身柄は無事渡さる〻筈で、遲くも八日夜芝罘發歸連の途に就くであらう、水上署では關東廳の方針通り褚氏大連上陸を拒止する手筈になつてゐるが九日早朝より高等係一同は嚴重警戒すると

濟州島南端で 春山丸坐礁す

自力離礁は見込なし

昨七日夜大連無線電信局で受信したところに依れば山本商事株式會社所屬汽船春山丸(二三五九噸)は同日午後九時四十五分濟州島の南端(北緯三三度十四分、東經一二六度四十分)で坐礁した、人命には異狀がないが自力離礁の見込がないのでサルベージ船が救助に來るまで濟州、木浦、京城等附近各陸上無線局で監視してゐる

大商軍惜敗

關東軍スター倶樂部對大連商業野球戰は七日午後二時から旅順グラウンドに於て大商先攻で開始、投手戰を演出して遂に三A對二のスコアーを殘してスター辛勝した

醉拂つた主人を 搜す馬車うま

市內桃源臺桃林舍內馬車夫張洪友(三〇)は七日午後八時半紀伊町で客を待つて居たが、あぶれた事から自棄酒を呷り馬車も何も放つた儘醉拂つて何處かへ行つて了ひ、馬は主人が何時迄待つても歸つて來ないのでブラ／＼と主人を探して沙河口眞金町電車停留場迄來た處を通行人が發見取押へ沙河口署に屆出たが、一方張は良い氣持で小崗子邊をブラついてゐたのを呼出され散々油を絞られて引下つた

夏のレヴュー(一)

街頭四題……(三)

並製の文化住宅

滿洲の夏の夜は思ひ切つて涼しい、殊にマツチ箱のやうな並製小文化住宅の二人ぐらしは。

×

風は家の中をふきつ通しである、サイダーをぬかせて二人ポツきりで樂しんでゐる圖はむしろ可愛いゝもの。

×

部屋をのぞくとちツぽけな本棚と安もの〻蓄音器が置かれてある、簡易な生活よ、風も、若き二人を妬んでやけに吹くではないか。

頗る手の長い カフエー主人

原籍鹿兒島市東千石町五當時沙河口白金町七番地白鳩カフエー主任木吉次郎(三七)は本年二月ごろ市內常盤町方面に於いて赤塗り自轉車を盜み自宅の古自轉車にタイヤ其他を取付けて使用して居たこと、嘗て給料も支拂はず解雇した陳桂聲(二二)から八日沙河口署への密告で發覺し目下取調べられてゐるが尚柾木は本年六月十六日に夏家河子滿鐵海水浴場に於て幅二尺五寸長さ五尺位の鐵板を窃取し家作に使用して居り又聖德街太子堂裏官有地より五尺位のヒバの樹を三本を掘とつて堂々店飾りに植てあり諸處から小盜見物を集めてカフエーの店頭を張つて居たこと判明餘罪取調中

留紙幣で 剩錢詐欺

鮮人機關手が

朝鮮全羅南道生れ市內濱町漁船信德號機關手金德順(三二)は八日午前二時逢坂町より仲間二名と共に市內若狹町第一タクシー自動車に乘り小崗子料理店朝鮮館迄行つて運轉手に向ひ露國留紙幣の五圓券を出して米國紙幣五弗なりと欺し金五圓の剩錢を取つて殘りはチツプだと意氣揚々と逃げ出した、運轉手は後で欺されたと判り其筋附近派出所に屆出たので捜索中の處同日午前四時半沙河口西町百二十一番地に潛伏中を取押へられた

ビールと剩錢の 籠拔け詐欺

自動車運轉手風の男

七日午後十一時ごろ大連但馬町雜貨商陳希林かたへ年齡廿二、三歲黑詰襟の洋服に淺黃色のズボンを穿いた自動車運轉手風體の日本人男が來りビール二打六圓七十錢を註文し十圓紙幣だから三圓三十錢の剩錢を持つて來て吳れと店員に右ビールと剩錢とを持たせ山縣通り六八大連タクシー附近の裏迄行つた時金十圓を持つて來るから一寸待つて吳れと待たせ右ビールと剩錢とを受け取り逃走せんとしたので屆け出により目下大連署で犯人捜査中

問題が苛酷こ 白紙の答案

小樽の女學生

【小樽八日發電】當市私立綠ケ岡高女三年生六十名は去る五日の經濟學々科試驗に問題が苛酷であるとして白紙の答案を出し、受持教諭が叱責したことよりその後の授業を受けず四年生全部も之に同情してストライキに入り、父兄會、學校當局の盡力で八日より登校の運びとなつたが三年生はこの二月にも同樣の擧に出たことがあると

間島附近の 虫害甚し

前途を憂慮さる

【間島發】間島各地の農作物に種々の害蟲が發生し殊に最も恐るべき夜盜蟲は例年より十日も早く發生し、晝夜蝕害を逞ふしてゐるが最近其の發生いよ／＼甚だしく百草溝局子街頭道溝の各平野とも盛んに蝕害を蒙り龍井附近に於ても馬鞍山麓の興新洞一帶は被害最も甚だしく高粱、粟は既に全滅となり蒔き直しを要する旨東拓出張所に通知があつたので領事館警察は一兩日中に現場視察を行ふ筈である、尚ほ夜盜蟲は曇天に移動活躍する習性を有してゐるので今日までの如く降雨と曇天が今後も繼續すれば出穗期に發生する二番生夜盜蟲が蔽蝕害を逞しふするに至るべく長雨の爲め除草の出來ぬ田畑の草蓬々たると相俟つて間島農作の前途は憂慮されてゐる

寶塚對實滿野球戰

寶滿一回戰	九日午後四時	滿倶球場
寶實一回戰	十日午後四時	實業球場
寶實二回戰	十二日午後四時	實業球場
寶滿二回戰	十三日午後四時	滿倶球場
決勝戰	十五、十六兩日	

主催 滿倶後援會 實業團後援會

後援 滿洲日報社

◎一時會員券 一圓、五十錢、二十錢

滿鐵市中OB 野球戰

滿鐵OB對市中倶OBの野球試合は寶塚戰の日程變更により十一日午後四時より滿倶球場に擧行されることゝなつたが、滿鐵市中倶とも對記者團戰に苦い經驗を味はつたこととて何れも相當秘策を廻らし更に必勝を期することとて相當に面白い試合が見られるであらう

毆打暴行

大連沙河口元町東京館止宿無職永吉雅夫は七日午前一時二十分ごろ同僚の櫻井照彥、山本秀夫、三上三三郎ほか一名と岩代町三飲食店稲屋清子かたに至り飲酒中、隣りに飲食してゐた丹後町三五活動常設館寶館樂師鮮人朴士元に喧嘩を賣り所持のステツキで朴の後頭部を毆打し暴行を働いたので直ちに大連署に引致された

火夫の阿片密輸

密告により水上署司法係は七日の朝より活動を開始し折柄入港中早濟通丸より直隸省天津府生れ火夫馬清(三七)同じく倶學義(四〇)を引致嚴重取調べたが、同人等は天津太沽の郝玉山(五三)なるものより阿片二貫目(時價千六百圓)を一個につき七元の手數料で寺兒溝居住の閻福海(四二)なるものに渡してくれと依賴された事を自白した船中檢査の結果機關部トンネルより該阿片を發見直に押收し犯人三名は餘罪ある見込で目下取調中

卵賣にシテやらる

七日午後一時市內霞町四番地特十六號十五井田豐惠方にて支那人の卵賣りが來て十一個を三十錢で買つたが小錢がないので十圓札を出した處、剩錢を持つて來るからと六十個許り入つてある卵籠を置いて出て行つた儘何時迄經つても歸つて來ぬので始めて欺された事判り其旨沙河口署に屆出た

自生電癒法講習

滯連中の大連麗立高女、大連商業の創立者であり大陸青年團の創始者である河合嵩叡翁は八日午後七時半より櫻町七八滿洲牧場に於て第四回の河合式自生電癒法講習會を開くことゝなつた

圖太い鮮人

朝鮮生れ當時沙河口元町一二一金義煥(五〇)は本年四月に沙河口元町一一七吳服商楊友琇(三六)方より無效の約束手形を擔保にして吳服物その他代金六十四圓餘を買入れ其後言を左右にして支拂はず何れかに逃走したが被害者の告訴により手配中の處六日瓦房店に於いて取押へられた

◇……東支西部線興安嶺附近は既に秋色を漂はし百花撩亂と咲き亂れてゐるが當地記者團は來る十三日ごろ出發一泊の豫定で同地高原地帶の探勝に赴く豫定であると【哈爾賓發】

◇……奉天における化粧品の消費高は昭和元年來劇增を示してゐるが殊に最近支那側の急激なモダン化によりその數を增して來た、支那側上流社會では化粧品でも佛國製品を使用してゐるが大部分は凡て日本製品を消費してゐるので、化粧品輸出も將來日本の重要な貿易品となるであらうと觀られてゐる、なほ奉天における支那側の消費高は年額十萬圓以上に達すると云はれてゐる【奉天發】

◇……間島各地の支那巡警は此のほどより一齊に警士と改稱されると同時に左胸部に番號入りの姓名票を吊ることゝなつたので、今後彼らの不正行爲は餘ほど減るだらうと一般の喝采を博してゐる【間島發】

●づつうに！ノーシン●

正誤 昭和四年七月八日附本紙七日夕刊二面掲載浪華洋行第八回購買會第七次當籤三十三號とあるは第八回第八次當籤の誤植に付訂正す

平安異香(43)

葉多默太郎作　中一彌畫

處女受難(二二)

蒔繪師是信の憤怒は、足海三左衛門にとつて思ふ壺だつた。是信に無禮があれば無禮打。何の雜作もない事だ──さうすりや娘の幸は巣を離れた小鳥同然──。

「是信よ、打つて來い。鑿でも何でも掴めばよいのだ」

三左衛門が胸に呟きながら待つてゐる、目だけは是信から離さない。スワといへば體を開きざまに拔討つつもり、鯉口に左の指がかゝつてゐる。

沈重な氣がじいつとこの場を抱き竦めた、それは重々しい瞬間だつた。

と、突然、ガクリとくづをれたのは是信だつた。烈風に向つて頑強に衝立つてゐた樹が、力を失つてボキツと折れた形──。

是信はぺたりと兩手をついてゐる。齒をキリ〳〵と噛んでゐるのだが、いふ言葉は至極穩かだつた。

「度々の延引で恐れ入りますが、どうかこゝ四五日お待ちを願ひます。娘にもとくと申し聞かせまして、……」

「親方!」

叫んだのは嘉吉だつた。が是信の眼に制せられて、咽喉まで出かゝつた次の言葉をゴクリと呑みこまねばならなかつた。

それへ冷やかな一瞥をくれた三左衛門、肩を搖つて大仰に笑つて

「では四五日待つてくれいと、かういふのだな。流石は是信だ、分りがよい、悧口だよ。さうなくてはならないところだ。ぢや娘御によく利害得失を說いて承知させておいてくれるんだな。五日といふと廿日かな。廿日に準備を整へて迎へに來ることにしやう。その時になつて否應は云はさぬぞ。刀にかけても貰つて行くから、その覺悟でゐてくれ、いゝな」

是信は頭を下げて、承諾の旨を示した。口を利くと怒氣を爆發しさうになるので、口はへの字に噛みしめてゐた。

「では暇だ」

「お靜かに」

師匠に代つて、嘉吉が挨拶をした。が、ひどく嗄れた異樣な聲になつてゐた。内心にふつ〳〵と燃える憤りの火をどうすることも出來なかつたのだ。

それかあらぬか、三左衛門が敷居を跨いだと思はれた時、トンと床を蹴つて立つた嘉吉──その手に穴抉りの鑿だ。いきなり土間へ飛び下りようとした。が、それへ是信の手が伸びて帶を掴まうとしたのが滑つて足頸にかゝつた。

「……」

嘉吉はクルリと振返つて師匠を睨んだ。師匠の是信にでもつつかゝりさうな眼だつた。

「嘉吉!──」

門へ聞えない程の低い聲が、是信の口から洩れた。言葉はたゞそれだけだつた。が、その二つの眼に、嘉吉はかつて見たことのないものを見た。瞼に含んだ涙だつた──。

「親方──すまねエ」

聲には出なかつたが、さういつた氣持が嘉吉の眼を熱くした。

その時門口に、三左衛門が馬に乘つた氣配がして、乾いた道をうつ馬の蹄の音がそれに續いて聞えた。

是信は二つ三つ目をしばたゝいてから、後へにぢつて柱へ凭りかゝり、毀れた人形のやうにガツクリとなつて眼を瞑つた。精も力も拔けきつた、といふ風だつた。が、その面に、苦悶の色が頻りに去來するのを嘉吉は見た。そして、尤もだ──と思ふのだつた。人に手をついた事のない親方が一度否だと云つたら、梃でも動かなかつた親方だ。それが手をついてあやまつた。口惜しいのが當然だ──。

口惜しがりながら、是信の顏色を窺つてゐると、間もなく、苦悶の色がその面から、掃かれたやうに消え去つて、觀念の出來た和かな相貌になつた。

と見ると、漆師を呼寄せて、刷毛をペタ〳〵やりだした。

「親方」

辛棒がしきれなくなつて嘉吉がその手を押へた。

「勸修寺へあんな返事をして、一體どうするつもりなんだ。」

映畫と演藝

トーキーの二つの問題【下】

次に第二の問題である。現在の日本映畫界にあつては邦畫洋畫共にその發聲映畫上映の範圍は非常に狹く、主なる大都會だけに限られてゐる。殊に完全なる發聲映畫上映裝置をするには非常な多額を要する。一例をとれば邦樂座はそのパラマウント、チエーンなるが故に、パラマウントとウエスターン、エレクトリックとの製作關係による契約に基いてウエスターン、エレクトリツク、エクイプメントをとつたのであるが、此の機械が全ケース四十個と云ふ大きなもので、原價一萬九千弗輸入税その他を加へると實に六萬圓近くの金額になるのである、斯くの如き代物は日本の映畫常設館では全然イムポシブルに屬すると見ていゝのである。しかも今日のアメリカ一流の映畫會社は悉く此のウエスターン、エレクトリツク、システムによつてトーキーをつくるが故に同じシステムによつて映寫機に於て最も完全に映寫される理窟なのである。

その他の機械にしても二、三萬圓は優にかゝるし、日本製のそれはその完全さに於て劣るとしたならば、小規模の常設館、殊に地方で今のところ殆んどトーキーに接する機會がない事になる。

こゝでパラマウントが計畫したのは、ロオド、ショウ(旅興行)用ウエスターン、エレクトリツク機の購入である。これによつて彼等は數へる程しかない發聲映畫裝置上映館の爲めに、高額の有聲プリントをとりよせなければならない。その狹い範圍から少しでも逃れられるし、地方のファンはこゝに現在世界最高級の發聲映畫寫機によつて完全にトーキーを見、且つ聞かれる事が出來るのである。

こゝに此の二つの問題がどう變化するか疑問であるが、彼等の計畫通りに行く事を希望してやまない。

滿洲日報

子規全集

聳立する子規の大風格に就け!!

我々のわれめわれめや山つゝじ

子規の藝術が百世不磨の創造的所産であることは言を俟たない。それは斷じてバタ臭い飜譯的付燒及的のものでない。我民族的氣魄の凝結である。此全集あることが我家庭の誇りであると共に實に其家の氣品を象徴す。此偉大なる藝術の民族的に役割を遂げ得ることは天下萬衆の均しく認むる所。敢て我國の全家庭が此點に顧慮せんことを切望する。

日本民族百世の寶典を見よ

第一卷 俳句全集(第一卷)
第二卷 俳句全集(第二卷)
第三卷 俳句全集(第三卷)
第四卷 俳論及俳話(上卷)
第五卷 俳論及俳話(下卷)
第六卷 歌論歌話及評論
第七卷 和歌、新體詩、漢詩
第八卷 隨筆篇(上卷)
第九卷 隨筆篇(下卷)
第十卷 小說、紀行、小品
第十一卷 少年時代創作篇(上卷)
第十二卷 少年時代創作篇(下卷)
第十三卷 編著(上卷)
第十四卷 編著(下卷)
第十五卷 書簡(上卷)
第十六卷 書簡(中卷)
第十七卷 書簡(下卷)
第十八卷 日記及年譜(未發表作品を悉く收む)

本全集なきは家門の恥辱

今日を將來する原動力
醫學博士 齋藤茂吉

子規全集によつて子規の全作品に親しむほど、今更ながら子規の偉大さに打たれる。どうしても三十六歲の若さで此の世を去つた人とは思へない。……現在の私たちから見ても子規の生涯は偉大なる事業そのものであり、今日を招來した滾滾たる原動力であつた。

新らしき苗木
文學博士 笹川臨風

創造力に豐かなる、淸新の氣の橫溢せる、子規居士の偉大なるは、常に新しい苗木を要領士に植えつけるにあつた。三十餘年前を追懷すると、どつしりした、それでゐて精悍の氣が眉宇の間に搖曳する居士の風丰が髣髴として眼前に往來する。

子規は我が解慮に襲つ
平田禿木

……この全集を座右において、自分は實に得難き激勵と慰めとを得てゐる。あの病軀を以て、何うしてこれだけの仕事が出來たらうかと自分は始終我が懈怠に襲つのである。その句に入り、歌に詠まれる世界が私達に親しみ深い

餘命いくばくかある夜短し
門しめに出て聞いて居る蛙かな
のりあけた帋に汐まつ凉かな
夏帽や吹き飛ばされて溝に落つ
夕風や白ばらの花皆動く

森深み山鳥なきてたまたまに人に逢ふさへ淋びしかりけり
○
足曳の山下臥見にとりはき秋つきて萩の芽摘みし昔おもほゆ
○
靑松の橫はふ枝にふる雨に露の白玉ぬかぬ葉もなし

第一回配本(第八卷) 隨筆篇(菊版五百七十四頁)
目下配本中

全十八卷 內容見本進呈
締切七月廿日 一冊壹圓
東京市芝區愛宕下町 改造社 振替東京八四〇二番

百世を率ゐる此大藝術を見よ!!

滿日地方版

奉天

州外初等教員の對抗競技會擧行
州内外對抗競技の豫選を兼ね

[illegible]

日支人大亂闘
七圓半が原因

[illegible]

云ひ含めて踊らしたが、中村は以前寶石の密輸から懲役六ケ月に處せられた強たかものであると

人事

[illegible]

弘利洋行の寄贈

[illegible]

遼陽

佐川巡査着任

當地警察署小沼氏轉任後久しく缺員中の處其後任として哈爾賓署より佐川[illegible]一郎氏が三日着任した

鞍中野外演習

[illegible]中學生四、五年生は軍事教官[illegible]氏に引率され野外演習の途に上つたが日程は左の通りである ▲六日午前十時遼陽着獨立守備隊官舍に入り宿營準備、夜は工兵隊見學 ▲七日朝工兵隊作業場滿紡附近に於て小隊對抗演習 ▲八日朝歩兵聯隊兵營附近に於て小隊對抗防演習、午後小隊對抗陣内戰 ▲九日宿小隊對抗前哨及夜襲 ▲九日宿所整理歸鞍

兒童慰安活動
滿鐵社會課主催

滿鐵社會課主催の第廿二回沿線兒童慰安活動寫眞は十六日午後二時[illegible]小學校講堂に於て開催、會費は[illegible]に依り大人十錢兒童五錢、プログラムは ▲[illegible]事、我は海の子一卷 ▲漫畫、[illegible]ンキ壹からスケート場一卷 ▲[illegible]生、鯔とその生活一卷 ▲實寫[illegible]戸岬一卷 ▲喜劇、お坊ちやん[illegible]卷 ▲影繪、四十人の盜賊三卷

満洲里

庭球倶樂部の夏期大會

[illegible]

哈爾賓

露人娘を賣飛す誘拐常習犯捕る
金品を與へて籠絡し天津上海方面へ密送

當地で若い露西亞娘を誘拐しては天津、上海などの魔窟に賣り飛ばしうまい汁を吸つてゐた恐ろしい人買が最近支那探偵局の活動によつて逮捕されるに至つた、惡漢の名はコーンナヤ街十五號のベルスーソワといふもので八方手蔓を求めて若い娘と知り合になり高價な着物や指輪などを買ひ與へ巧に籠絡し上海へ行けば一ケ月百留や二百留稼ぐのは朝飯前であるなどと相手の無智につけ込み虚榮心を釣り親のもとから連れ出し更に連絡のあるケルネル、ラウフエデルなどゝいふ札附のあばずれ女の手によつて各地へ密送してゐたものである、一味が逮捕された動機はナハロフカのコローウイナといふ今年十六歳になる娘が家出したので探偵局で捜査したところ前記の惡漢ベルスーソワ方にかくまはれてゐたことが發見され次で娘を訊問の結果ベルスーソワの甘言に乘つて危ふく上海へ賣り飛ばされんとするところであつたことが解つた、尚この外惡漢の毒牙にかゝつたものは現在判明してゐるだけでもエフイモフ、カルニロフ、ゴウエルヒンの三小女がある目下餘罪取調中である

商議會頭互選

當地商工會議所では來る九日新議員の第一回會議を開き會頭、副會頭の互選を行ふことに決した

參事會員辭任

前滿鐵事務所長古澤幸吉氏は來る十日頃離哈内地へ引きあげることになつたので五日支那側市會に對し市參事會員の職を辭任する旨正式に通告した、後任には八木總領事の推薦により商工會議所會頭加藤明氏が任命されるだらうと

民會理事後任

辭任した藤井民會理事の後任は五日の評議員會議の結果既報の如く[illegible]國際の鈴々木佐七氏に決定した

公主嶺

森課長北鮮視察

當地滿鐵事務所森運輸課長は七日發約一ケ月の豫定で浦鹽から北鮮地方の一般運輸狀況視察旅行に出向

土筆吟社句會

公主嶺騎兵聯隊一等軍醫山本氏は今回軍醫學校に近く入校離公することになつたので當地土筆吟社の會員は五日午後七時滿鐵倶樂部の樓上に氏の送別句會を開催し盛會を極めた

今井氏の講演

地方事務所社會課主催今井三郎氏の講演會は七日午後七時半滿倶樓上に開催(宗教改革の要望)と題し雄辯を振ひ聽講者に感動を與へた

撫順

炭都から海山へ解放される兒等
暑休に入ると同時に各學校は海へ山へ

石炭臭ひ撫順の小中女學校生徒達が白波岩に碎くる海へ、翠綠滴る山へと解放される暑中休暇が愈來た、撫中と高女はこの十一日から八月二十日迄四十日間で中學校は教諭引率のもとに十一日から十七日まで夏家河子へキャンプ生活をなすことと決定、各小學校の夏休みはこの二十日から八月三十日迄の一ケ月間千金、永安、新屯各校とも八月三日から十日迄海濱聚落、七月三十一日から八月十四日まで溫泉聚落、また一方七月二十一日から同三十日迄連山關に山間聚落をなすべく各希望に應じたプランも決定、待たれた夏休みを最も有意義にすごさんとしてゐる

兇器を持つ强盗撫順全區を横行
七日一日に三ッの被害

萬里人なき荒野を横行するが如く警察の警戒を白眼視し持兇器強盜連日の如く撫順全區に亙つて掠奪殘忍を恣にしてゐるが七日午前一時三十分今度は全く方角違ひの塔灣二番地製造業馬希祥([illegible])方及びその隣家なる張春永([illegible])方に五人組強盜矢繼ぎ早に襲ひ威嚇の爲ブローニング拳銃を亂射し家人の震へあがる所を馬希祥方では女用金腕輪二個時價八十圓、その他現大洋、長衣、支那靴等を強奪、張春永方では銀腕輪二個鈔票六十圓、ドンス衣服等をせしめ訴へると是だぞと又復威嚇發砲東ケ岡露天掘方面に逃走した、右事件の直後二時二十分頃機械工場社宅附近の雜貨商李潤達([illegible])方に面部に白ペンキをこて〳〵塗りたてた異形の拳銃所持の四人組怪盜侵入金品多數を掠奪逃走したるも何れも犯人の目星つかず彼等の人もなげなる行動には當局も全く憤慨してゐる

開原

鐵嶺開原對抗弓道大會

既報の通り弓道部の鐵開對抗試合は滿鐵弓道場に於て七日午前十時半より開始、競射各員二十射宛にて鐵嶺松元三段初め十一名九十五中、開原が岳井三段初め十一名百二十一中にて二十六本の差にて開原の勝利に歸した、休憩の後兩部員入り混じりて源平競射をなしたるが各員十射宛にて源氏四十八中平氏五十中にて平氏の勝利に歸し同四時半終了せるが終始緊張せる立派な試合であつた、因に試合終了後鐵開兩部員は開原神社に參拜し鐵嶺部員は同五時三十八分發列車にて歸鐵した、尚對抗試合の個人成績は左の如し

十五中 鐵嶺橋本
十四中 開原千々和、橋本、大[illegible]
十三中 鐵嶺滿吉 開原伊藤

德田兵器部長動靜

德田關東軍兵器部長は七日午後二時十八分着列車にて來開し憲兵分隊にて兵器檢査を行ひ同夜一泊、八日開原守備隊の兵器檢査を行ひたる後同日午後急行列車にて四平街に向け出發した

瓦房店

幼稚園七夕祭

瓦房店幼稚園にては六日午前十時より例年の通り七夕祭を施行したり最初に杵淵校長の挨拶ありて直に遊戲大きなお日樣、唱歌流れ星外數種を演じ多數父兄の參觀もあり頗る盛會であつた

機關區見學

瓦房店家庭研究會員一行が十日午前九時より當地機關區構内を見學する事となり機關車の構造乘務連絡につき吉留區長の講演ある筈

鐵嶺

鐵嶺保線區管内工費百五十萬圓
大小の工事多く係員忙殺さる

鐵嶺保線區管内にかける今年の工事は數年來に無い大工事が多く總工費實に百五十萬圓を突破する有樣であるが、その中開原驛の新築が最も大きく他にも各種の工事多く磯谷區長以下忙殺されてゐる、最近入札決定せる大工事は開原驛の本家ホームより中ホームに通ずる乘客用の地下道にて工費三萬三千三百三十四圓請負人は福井高梨組である、地下道は幅四米突、高さ二米突四〇、延長二四米突九日コンクリートで固め十月末日完成の豫定、次は新臺子新城子間失家矢河及大水河の橋梁工事で此の橋梁全部を石橋に變更するもので、工費一萬八千圓大連岡組の請負で近く工事着手の筈であるが着手と同時に工事個所下り線のみを使用し單線運轉とすると

長春

紀藤民會長内地へ

居留民會長紀藤義也氏は來る十五日當地出發約二ケ月の豫定を以て内地各方面に出張すると

愈雨季に入つて傳染病患者續出
各家庭に注意書配付

雨季に入つたので各家庭では傳染病豫防の爲めに充分注意する必要があるが早くも數日前から市中に赤痢が流行し出し非常な勢ひで猖獗を極めてゐる、長春警察署で調査した所に依ると五日現在患者は二十四名で大部分は日本人である、傳染系統は不明であるが附屬地外から齎す野菜や果實に病菌が附着するものらしいから各家庭では飲食物については充分注意せねばならぬ、附屬地外の狀況は詳かでないが可なり猖獗を極めてゐるらしく一般支那人は患者が發生しても屆けないのみならず、消毒も全く行はれてゐないから附屬地外から運ばれる野菜類には病菌が附着してゐるものと見做して差支ない、地方事務所でも早速應急策を講ずることゝなり近く各家庭にカルキ一瓶及[illegible]書を無料配付すると

鞍山

盆栽持寄會

鞍山園藝同好會では既報の如く敷島町實業協會堂に於て六、七の兩日花卉、盆栽、蘭、萬年青等の持寄展覽會を開催したが秘藏品の出品多數にして兩日共盛況であつた

やまき呉服店賣出

鞍山敷島町やまき呉服店の夏物一掃大賣出しは五日より十日まで六日間開催されたが毎日多數の來客あり頗る盛況を呈して居る

實業協會堂落成式

鞍山實業協會堂は敷島町一丁目に建築中の處愈々竣工したので、十日午後五時より同堂に於て地方事務所、製鐵所、警察署、小中學校長、驛長、局長、守備隊長、新聞記者其他有志四十餘名を招待し盛大なる落成式を擧行すると

加藤金組委員赴旅

鞍山金融組合設立委員は關東廳より十三日午前十時出頭せよとの報に接したので、同委員會は六日午後七時より敷島町實業協會堂に於て協議會を開き人選した結果、加藤政人氏に決定し散會した

安東

大和校の兒童が銀行會社に通勤
手島校長の新計畫

大和小學校長手島氏は着任以來兒童の長所を見出し適當なる道に進ませんと色々なる方法を計畫なして居るが此度の暑中休暇を利用して高等科の兒童の希望者に依り市中の銀行や商店へ通勤させ商工事の實習をさせ樣と計畫し父兄の諒解を得る爲五日午後七時より希望者の父兄に來校を求め其の意嚮を徵したるに約七、八十名の來校者あり手島校長の意見に贊成を得たので校長は八日頃より市内各商店銀行等の諒解を求めに向ふ筈

多獅島清遊會

大連汽船會社安東出張所では七日會社所有の發動汽船鴨丸にて鴨綠江口外多獅島及び水運島方面の視察旁々一日の清遊を試みる事となつた、右參加者は約二十五名位にて先づ午前五時江岸棧橋より出航途中三道浪頭、多獅島に立寄り同十一時水運島に上陸午後三時同所發午後七時半安東歸着の豫定である

貔子窩

慈雨に惠まれ農作物蘇へる

去月十二日以來一滴の雨もなく農作物は枯死の情態に在り殊に飲料水に乏しい當地では井水は涸渇し毎日天を仰ぎ各地に惠まれる雨を羨ましがつて居たが、昨六日の夕刻より本朝迄多量の雨があつたので漸く蘇生の思ひをしたが此分なれば本年の農作物も平年作は大丈夫であると

旅順

黄金臺のキャンプ生活は許可されず

毎年夏期になると黄金臺には避暑を兼ねたキャンプ生活が始まり各地から學生其の他の團體が集るが本年は要塞側でこれを許可せぬ方針であるためにキャンプ生活希望者は柏嵐子方面に變更せねばならぬであらうところで明大農科學生十二名は來る十一日到着し黄金臺にキャンプする旨滿鐵を介し旅順驛に依賴方を通じ來たが、更に慶應其他の學生團も來る模樣で旅順驛では之が應接に困つてゐる

コソ泥捕はる

旅順署司法係では去る六日以來山東生れ當時住所不定譚希榮([illegible])を勾留取調中であるが、此奴は本月三日午前三時頃市内朝顏町一二叢殿用方の金窓を破壞して屋内に忍び入り衣類十三點價格十圓三十錢也を盜み、其足で川端町一一質店黄墨林方に至り五點を銀一圓四十錢也で入質し更に西町二〇四の質屋關景唐方に至り三點を八十錢で入質し其餘は入質の目的で持廻つてゐたもので、司法係では引續き取調中

自動車と自轉車の衝突
運轉手は無免許

市内川端町洪順運送所方運轉手王[illegible]業([illegible])は五日午後三時頃市内伊地知町三十二番先路上に於て同番地川谷徹夫([illegible])の自轉車と衝突し自轉車を滅茶々々に破壞し徹夫の左臉に長さ一寸深さ三分治療一週間を要する負傷を被らせたが、旅順署で取調の結果無免許で自動車を運轉してゐたものと判明引續き勾留取調中である

輸組購買傳票使用規程

旅順輸入組合の購買組合傳票使用事務開始の爲め四日宮田委員長等は各官衙の會計事務關係者を訪問種々諒解を求めたが組合員の傳票使用につき注意すべき事は

一、輸入組合の各商店より物品を購買する場合は購買組合の傳票を直ちに適用ずるも差支なし
一、購買の場合傳票持ち合せなき時は各商店に備へ付けある傳票に記入する事
一、記入の代金は割引表に示したる割引歩合を控除したる價格を四捨五入にて記入の事
一、各商店は毎月末迄の賣上品代を締切り計算し翌月の俸給支拂日に購買組合事務所より輸入組合に支拂ふ事
一、分割拂ひを必要とする場合には各商店と直接談合し傳票面は其月仕拂はるべき賣金額を記入する事

等であると

海鼠、鮑、赤貝夏期採取禁斷

旅順警察署では六日各沿岸派出所宛に海鼠、鮑、赤貝等夏期中採捕禁止魚介類の禁斷を犯す密漁者の取締方を通牒した

滿洲繪筆遍路 大野斯文
(八)

卒塔婆小町の「大石橋」(大石橋)

驛から南へ十町程行くと、道の兩側に蠅をまぶした豚肉や意氣銷沈した野菜を售つてゐる小市場がある「こゝだく」と裏へ廻ると古びた石橋がアンペラ小屋の椽の下の芥の中に埋もれてゐる、刮目熟視しないと判らない程「大石橋」の始祖が虐待されてゐる。橋ばかりでない唐の太宗を惱ましたと云ふ淤泥川そのものが幅約九尺水もなく野糞の小紋散しになつてゐる。

幽靈の出現は有り得るもの
幽靈の家に閉籠つて靈魂不滅を研究する坊さん

【長春】靈魂不滅の學說を立證する爲めに「幽靈の出る家」に自ら求めて居住してゐる青年がある

◇

長春露月町四十三番地の滿鐵集合社宅の一軒に住んでゐた當時滿鐵社員(ホテル勤務)永本某は妻と二人暮しであつたが家庭は至つて圓滿で何不足もないらしかつたが昨年六月二十一日友人を招待しやうとして妻は炊事場で鯛の料理にとりかゝり夫は友人を迎へに出掛けた、夫永本が三十分程して歸つて來た所炊事場で料理をしてゐる筈の愛妻はどうした原因かは解らぬが料理をしかけた鯛をそのまゝにして奥の四疊の室の柱にしごきを掛けて縊死してゐた、何が彼女を死に至らしめたか、單調な生活の淋しさに堪へずしてか、それとも結婚前に夫には秘して大きな罪惡があつたのか、それにしても死の三十分前にはいそ〳〵と立ち働らいてゐた彼女の死は夫永本にはどうしても判らなかつた、全く謎の死であつたが懇ろな葬儀も無事に濟ませ永本が職を去つて内地に引上げた後社宅係りは他の社員にこの家を當てがつた所不思議にもその家に移つてからは家人が度々うなされて安眠が出來ない殊に毎月二十一日の命日には明かに幽靈が出て家人を脅かすと云ふ、社員を替へて見ても同樣な出來事が繰返され遂には誰も入り手が無くなり長く空家となつたまゝ社宅係りも持て餘してゐたが

◇

この事をきゝ込んだ日蓮宗經興寺の青年從職吉岡辨行氏は日頃の學說を立證する好機だと早速滿鐵地方事務所に申込んで五月下旬から引續き居住してゐる、人の念力はある物體から離れないと固く信じてゐる、この若き學徒は日夜精神を統一して行ける人の靈を求めてさゝやきかけやうとしてゐる氏を「幽靈の出る家」に訪へば六疊の一間には机や本や衣類などが雜然ととり亂され事件のあつたその室には綠の地に南妙法蓮華經と染め出した一幅がかけられその前には永本氏夫人の位牌が安置されてある、吉岡さんはポツ〳〵語り出す

◇

變死人が出て入り手の無い家に坊主が入つたと言へばごく平凡なことですが私は靈魂の不滅を實驗心理學的に立證すべく研究して見たいのです、私が茲に來て四十日許りですが私は之までうなされたと云ふことはないのです、茲に來てから三度うなされました、恐怖觀念だなどと簡單にかたづけることは出來ません、念力が特定の場所に根據して離れないのは有り得ることだと信じてゐます、生前滿たされない靈は確かにある物體から離れません、滿たされない念力は幽靈となつたり又近くのものがうなされたり色々の形となつて現はれるのです、恰かも水に映る柳の影のやうなもので柳の木がある以上影は流れないのです、尚例を擧けば昔人間の病氣にかゝるのはどんな原因か解らなかつたのでせうが顯微鏡が發明されて黴菌が發見されたのです、それと同じくある方法に依つて人の靈魂を立證すべき方法を考へたいと思ひます、私は毎日讀經して精神を統一し死人の靈に接し佛の教を傳へて慰めてやらうと思ひます、こうして靈が滿足せしめられた時その人の念力は茲を去ります、それまで私は茲にゐるつもりですと

大連將棋聯盟特選
滿日五人拔戰
(永井君一回勝二回目)

(七ノ五)手 平先番初段 ▲藤田德蔵 / 初段 △永井喜太郎

▽永井 持駒 角桂歩歩 / ▲藤田 持駒 角金歩歩

(盤面以下の手順)

▲一七角打 △二三銀 ▲三九角 △六五桂 ▲七一飛 △五一桂 ▲八四角 △五二金 ▲五三金 △四二銀 ▲五二金 △同玉 ▲七二飛ナル △四一玉 ▲五一角ナル迄、藤田君勝

戰の跡 三段 宮本金三

互角の力を以て戰はど何れの競技にも「エキスサイト」されたシーソーゲームは見られる者である、併し其緊張した中にも毛程の隙から意外の破れを見る事がある、要は其缺點を洞察すると否とに依つて較れるものである

◇

藤田君の一七角打は强手であつた、此處で永井君が一九龍ならば、三三歩打、二三銀、六二角なる、四二玉、七三馬、で後四五桂を含んで優勢である、併し永井君が、二三銀と取つたのは輕率でした兎に角一旦三六龍と逃げて置く處でしよ七一飛と打ち、八四角の時、五二金は弱過ぎて面白くない、此處三五角と攻防兩用の含みに打つて置く方或は勝敗地を植つたかも知れない、此邊になると壓迫を請けて居ると云ふ感念に支配されて飛んでもない惡手を演じ、悔を千載に殘す者である、前田君の五三金打以下の寄手順は正確でした。

◇

此對局は策戰又は其緊張振りは前局對玉名君の時に比較して優る共劣らない好取組で私は一入興味を以つて審判致しました、更にてう期に反せず序は正々堂々相懸りの定法に從つて、初段級としては異常に正確な駒捌で進められて行きました。中盤八二飛九四歩との策を誤つた間隙に乘じて藤田君が巧みに三筋から攻勢を續け遂に其儘大勢を制したのは拔群のお手柄でした、併し終盤、永井君も溫順に三六龍と引き持久戰の含みに指し、然る後己れの實力を發揮する策を採るべき際、敵の讀み筋通り龍の交換を計つたのは拙策でした、次に三五角と打つべき機會を逸し五二金の弱手の爲め一擧に壓倒されたのは近來の不出來と思ひます心すべきは終盤の手捌にこそ……。次回は初段澤田賢太郎君)

穀物業者の福音

穀物自働計量機

原料、仕上りの歩止りを知る　勞力と繁雜こを省く

【奉天發】穀物加工業者は從來原料品と仕上り品との歩止りを知る爲め多大の勞力と繁雜とを負擔して居た、特に大量を急速加工の場合の如きは適確なる歩止りを覷むることとなく

大體 の見當によりて處理するの止むを得ざる狀態にあつた其爲め種々なる不利を製造業者に蒙つて居た、特に精米工業に於て此憾みが多かつたが今回二十年に近き斯界の經驗者である全滿米穀同業組合萩原檢査場長が數年前より苦心の結果、理想的機械を發明し實物を完成し目下特許出願中であるが本機は全部眞鍮板製にて重量五貫目前後高さ二尺五寸幅一尺二寸厚さ四寸弱の龜甲形のものであつて本機を原料投入口と精品仕上り口に裝置すれば其の表示する指針の

移動 により原料と製品との歩止りを立所に算出し得るのである精米、精粟工場及穀物精選工場等は本機の發明により多大の便宜を得ることゝなる

數年前から着手　製圖する事七回

發明者萩原氏語る

發明者萩原氏は語る

この工風は數年前から心掛けて製圖すること七回模型を作ること五回、今度漸く確信を得ましたので先日來實用機を作製して居りましたが

御覽 の通り出來上りました物理的考案としては「平均したる重量を持つ物體（穀物の如き）を一定の口徑より一定の距離を落下せしむることによつて起る抵抗は常に同一である」と信じますので其抵抗を動力として齒輪の運動を起さしめ計算を表示せしむることゝしたのであります構造については目下特許出願中でありますから發表致し兼ねますが運動の平衡を保たしむるため相當の苦心を用ひてあること丈は御認め願ます、只今迄の

試驗 によりますと白米で〇、七即ち千分の七の公差は免れません、更に工風して千分の二位迄確實性を進め度いと思つて居ります、千分の七と云へば相當大きなものでありますが、米にしてみると千石の七石でありますから是を現在當業者の行ふて居る大凡の見當による採算に比較すると兎もあれ確實性は相當進められたものと云ふことが出來ます、尙從來氣體（瓦斯）液體（水道油）の自働計量機には相當進歩したものもありますが本機は夫れ等とは全く異つた根底より立案したものであります今後更に研究致しまして確實性が千分の五迄進んだら希望者に作つて頒つつもりで居ります、價は今の處適確に

算出 して居りませぬが材料を相當厚い眞鍮板にしましたのと作業の精巧を期する爲め相當手間が掛りますから存外高くつくであらうと思ひますが大體一個七十圓見當で出來ると思つて居ります（寫眞は自働計量機）

撫順全坑の選炭會議

【撫順】過般一ケ月間全坑に亙る選炭デーの成績を基準として將來の炭質改善、選炭能率增進を計るべく全礦の選炭會議が十二日炭礦中央事務所會議室に於て炭礦側關係者全部滿鐵本社販賣課員列席の上開會される、當日は過般の選炭デーの成績は勿論各方面の選炭に關する研究事項も發表討議される筈で理想的炭質改善策が樹立されるものと各方面の期待は非常なものである

支那巡警急派

【哈爾賓】東支西部線イリクテ札免公司では目下支那側と山稅問題のことで紛爭を釀してゐるが當地支那警察當局は萬一を慮り巡警二十五名を五日同地へ急派して警戒することになつた

ゴム底靴の排斥運動

支那紙惡宣傳

【哈爾賓】日本製ゴム底支那靴は値段が安いのと耐久力があるので當地市場でも毎年約三百萬足內外の需要があるが支那側靴製造業者はこれを嫉視しこれまでいろ〱とこれが排貨運動を試み最近に至つては遂に市當局を動かし日本製ゴム靴の使用禁止令を發布せしむるなど極力該品の市場進入阻止に努めてゐたが今回また〱新聞紙を利用し日本製ゴム靴輸入のため當地靴製造職工約一千名が失業して憂ふべき現象を呈してゐると惡宣傳を行つてゐる

山東苦力減少

【哈爾賓】現在既に農作期を終つたので直魯方面から來る移住民もまた漸次減少し六月中東支南部線で輸送した數は男女子供とも合計四百三十八名で五月に比較して約一千名の減少を示してゐる

國學院快勝す

對奉滿野球戰

【奉天】國學院大學對奉天滿倶の野球戰は七日午後三時から新公園グラウンドに於て擧行されたが滿倶は緊張味を缺き失策多く遂に十對四にて滿倶慘敗した閉戰午後六時過ぎ

寗木公司讓渡

【哈爾賓】當地植田一夫氏の經營して來た寗安木材公司は今回都合により大連の恩田熊壽郎氏の手に移ることゝなり兩三日中には讓り渡し契約を締結する運びになるだらうと、尙新經營主に移つた同公司は牡丹江木材公司と改稱し當地買賣街湖月前に事務所を設け本秋より大々的に事業を始める由で又植田氏は別に合資會社植田洋行を組織し器械、金物及び工業用諸材料の販賣を行ふと

月曜休日全廢

【哈爾賓】東支鐵道では從來夏期のあいだ土曜日又は日曜日が祭日に當つた場合は月曜日をサンマーデーとして全休することにしてゐたが本年は今日に至るも未だ實行されてゐない、聞くところによると右は支那側の反對によるもので本年のみならず將來とも右習慣は全廢されるだらうと

哈府で見本展示會開催

【哈爾賓】哈爾賓商品陳列館が近くヘベロフスクに分館を設置して對露貿易を促進すべしとの說に對し同館庶務主任の言によれば右計畫は別に新らしいものでなく兩三年前から商工省へ提案されてゐるが豫算その他國際的關係で今日に至るも尙實現されるに至らないしかしこの計畫は早晩實行される可能性を有してゐることは確で日本の對露輸出組合も本年中には同地に見本展示會を開く意氣込みで目下準備中であると

石器時代の遺跡と遺物（中）

營城子を中心とした

ウラタ・シゲマツ

牧城と城山の兩遺跡地は私がまだ踏査してゐませんが牧城の遺跡地は前牧城驛保線丁場（夏家河子と營城子の中間）の附近にあるのだらうと思ひます。城山は長嶺子保線丁場（營城子と龍頭の中間）から東四キロの所にあります、城山は營城子會と三澗堡會の境にありますから、遺跡地も兩方にまたがつてゐるだらうと思ひます。石器時代の遺跡地には石棚（ドルメン）があります。石柱（メンヒル）があります。石塚（ケールン）があります。貝塚があります。遺物包含層があります。遺物散布地があります、石棚と石柱は石器時代の墳墓で、巨石崇拜から出發した產物です。ピラミッドほどまでは行かないが、大きな仕事を殘したものです。亮甲店や萬家嶺などに發見されてゐますが、惜いことに營城子では發見されてゐません。石塚も石器時代の墳墓で主として山の頂上にあり、直徑三四十センチ以上の石を積重ねたものですが營城子會內にあるといふ話を聞いてゐますがまだ實見しません

◇

貝塚は石器時代のごみ捨場です貝殼が多くあるから貝塚といふのです。しかし幾ら石器時代の人々だからと言つて傳說にあるやうに貝ばかり食べてゐたものではありません。魚も食べました、鳥や獸も食べました。果物や穀類や野菜も食べたであらうと思ひます。これ等の食べ殘りも無論あつたのでせうが、腐り易いものから腐つて、腐りにくいものが殘つたのです。それで貝塚といつても貝殼ばかり出すものではなく、魚の骨、蟹の爪、猪の牙。鳥や獸の骨といつたやうなものが交つてゐます。又石器や土器も出ます。

◇

營城子會では文家屯と鐵頂山に貝塚があります。双砣子山やその他の遺跡地にも貝殼はありますが、貝塚と呼ぶほどに豐富ではありません。私が文家屯の貝塚から拾つて來た貝殼には、はまぐり、あさり、かき、かゞみがひ、おきしじみ、さるぼう、あかにし、つめたがひ、すがひ、いしだたみなどがありました。貝は見付かつても逃げないからこの時代の人達には重寶な獲物であつたに違ひありません。」

◇

遺物包含層は石器時代の居住跡及びごみ捨場です。石器土器その他の遺物を含んだ層があつてその上を覆土でおほうてゐますこの包含層が農夫のすき先などで掘りかへされたりして遺物が包含層以外に散らばつた土地を遺物散布地と申します。又石器時代の人々が狩獵やその外の關係で落した遺物を見附ることがあります。そんな所も遺物散布地と申します。前に述べた各遺跡には遺物包含層があります。散布地は各所にあります。

コドモページ 成績紙上展覽會

私のお人形

松林小學校三年 川口榮子

私のお人形は、日本人形とせいやう人形、みんなで、三人をります。前に妹が日本人形を下さいといつたのでやりましたから今では、せいやう人形ほかありません。

私のせいやう人形はそれはくかはいいかほをしてゐます。あかいほつぺたに青いお目が大きく光つてゐます、そしてねかすとマヽーつていひます、又グードバイでもいひます。

私はグードバイつてへんなことをいひますからねえさんに「グードバイつて何ていふこと」つてきくと姉さんは「さよならつていふことですよ」つておしへてくれました。

私はお友達にお手紙を出す時はいつもグードバイと書いて出します。

ゑんそくのまへの日

伏見臺小學校尋二 西郷さちか

せんせい「さあ、まつすぐにおなりなさい」
せいと「はい」
せんせい「さあ、これからおはなしをしますからみんなよくきいていらつしやい」
みんな「まあ、うれしいわ」
せんせい「あしたはゑんそくにいきます」
さちか「どこへゑんそくですか」
せんせい「かゝかしにゑんそくにいくのです」
はつえ「あしたえんそくならおくわしもつてきていいでせう」
せんせい「もつてきてもいひですが十せんより下もつてきたらいいでせう」
みやへ「そしたら私いいものもつてくるわ」
さちか「私もいゝものもつてくるわ」
はつえ「私、なつみかんと、チヨコレートと、キヤラメルもつてくるわ」
さちか「私も」
ひさ子「せんせいあしたは、なんじなんぷんにしゆつぱつですか」
せんせい「七じ三十ぷんにしゆつぱつです」
さちか「そしたらきしやにのるのは、なんじなんぷんですか」
せんせい「八じ二十ぷんでありますす」
みやへ「あら、ずいぶんはやいわね」
はつえ「そうよ、だからあしたねばうしたらいけないのでせう!」
せんせい「そうです、だから七じにかゝかしへきたらいいです」
みんな「七じにがくかうへきたらいいわねえ。きつとおくれないやうにくるわ」
ひさ子「もう、かへつていいですか」
せんせい「もうかへつてもいいです、おうちへかへつて、おごちそうこしらへて、おもらひなさい」
みんな「せんせいさやうなら」
せんせい「さやうなら」

初夏のたのしみ

金州小學校高二 白石繁野

燃えたつ緑の春のながめも、アカシヤの花のちるにつれて、いつのまにか夏らしい氣分にひたる様になつた。

立ち並んで居る家々の庭には、美しい、とりどりの花が朝夕めぐんでくれる水をいただいて、勢ひよくりつぱにやさしい、しかも、よい香をはなつて、人目を樂しませてくれる。

夏らしい壯大な空には、白雲がたゞよつて、太陽は下界をやさしい手で靜かになでゝにこにこと西の山の端にかくれて行く、夕方は、涼しい風が吹いて來てほんとうに氣持がよい。

長い冬ごもりで、ペチカのそばにくるまつてゐた人々も、春から夏と、自然の風景にさそはれて、遠い處まで見物に出かける様になつて來て、たのしい日を過ごす日が多くなつた。

そうして人々の身體を丈夫にしてくれる幸福の世界ともなつた、あゝ夏は我々にとつては樂しい時節で、此の時こそ、うんと、日光にあたつて黒い上にも黒い身體となりませう。

赤ちやんのけんくわ

遼陽小學校尋五 宮城富美子

此の間のこと、田川さんの今年四つの陽ちやんが三りん車を持つて遊んでゐた。それを見た山崎さんの三つの高ちやんがそれをかせといつて中々きかない。

それを見た圭ちやんはいそいで自分の内へかえつて高ちやんの三りん車を持つて來たがどうしてもようちやんのでなければいけないと言つて陽ちやんのを取らうとする。

又陽ちやんもちよつとくらいかせばよいのにどうしてもにぎつてゐてかさない。とうとう二人はけんくわをはじめた。

私はそれをとめたが中々やめない、信子さんも高ちやんをおんぶしてあやしてゐたがしまひには高ちやんは泣きだして信子さんのかみを引ぱる。そうすると内の赤ちやんまでもびつくりして泣き出す。手のつけようもない事になつてしまつた。

それで高ちやんを内のうば車にのせた。

すると内の赤ちやんが小さいくせに高ちやんがわるいといふ事がわかつたのか入るといきなり高ちやんのかみの毛を引つぱつてたたきつけた。

そうすると高ちやんもかほをかきむしる。

私は此の赤ちやんたちのけんくわを見てゐたが、かわいゝものだと思つた。

自由畫 嶺前小學校一年 上野道子

自由畫 伏見臺小學校尋一 須藤亨

カカシニイツタコト

松林小學校二年 カツラヒロコ

オトウサント私ハキシヤニノツテ、カカシニイキマシタ。マドノトヲアケテミテヰマスト、ハヤシノヤウニ木ガイツパイハエテソノ中ニ チイチヤイオウチガタツテヰタノデ 私ハオモハズ ココロノ中デ、アカイオウチノウタヲウタヒマシタ。又イイケシキヲ見タリシテ ヨウヤクカカシニツキマシタ。キシヤカラオリテ見ルト 人ガ一パイナノデ オトウサンガナンゼンニングライダトオツシヤイマシタ バシヨニツイテオトウサンニ 海ニハイツテイイデスカトキキマストハイツテハイケマセントオツシヤツタノデ ナンベンモ「アンナニイツパイハイツテイルノニ」トイヒマストハイツテヨロシイトオツシヤツタノデ、私ハ大ヨロコビデ、海ニハイリマシタ。ソシテオモシロイオシバイヲミテカヘリマシタ。

ひよこ

大正小學校四年 田中末松

二十六日の朝、お母さんが「ひよこがかへつたよ」とおつしやつた。

僕はいそいで外へ出た。

ひよこは「ぴよぴよ」と鳴いてゐる。親鳥の羽の下からかはいゝ聲で鳴いてゐる。僕はきびを手につけてひよこの口の先に持つて行くと口ばしで手のきびをつつきだした。お父さんは朝からあみを買つてゐらつしやつた晝のあいだにもう小屋が出來あがつた。ひよこはうれしさうに小屋の中で兄弟仲よく遊んでゐる。

私の町

朝日小學校二年 木村將衛

ぼくらの町は大れんです。

大れんは大ひろばがまんなかになつてゐます。

道が四方に通つてゐます。

町のりやうがはには木がならんで大男のやうにたつてゐます。

あをあをとしたはがせいのたかさもおなじにうえてあります。

大れんの町にはすいげんちもあればほしがうら、ろうこたん、でんきゆうえんもあります。

こんなところにさくらの花がきれいにさいてゐます。

はるになればよその人だちがおはなみにいきます。

ふとうにはたくさんの舟がならんでついてゐます。

エレベーター

大廣場小學校四年 前澤誠一

僕は手工の時間に何をつくろうかと先づ考へた。家をつくろうと思つて始めた。形はよく出來たが、角の紙をはるのが中々むづかしい。内に歸つてゆつくりこしらへやうと思つて。まあ教室で出來るだけ一生けんめいにしたが、ぐちやぐちやになつてこはれたけれどがまんしてつくつて居たが、とうとうがまんがしきれなくてやめてしまつた。これではだめだ、しようと思つた事は何事も出來ないことはないと思つて、何か一つでもいいからしとげやうと決心した。其の次の日の夕方何の氣なしに向ひのナニハホテルの前を通つた、ちようどエレベーターが下りて來た所であつた。その時少し考へた「一つエレベーターをつくろう」と思ひついて大急ぎで家へ歸つた。そしてボール紙を買つてつくりはぢめた。一生けんめいにつくつた末、とうとう作り上げた。僕は大喜びで翌日學校へ持つて行つた。今でもそのエレベーターは殘つて居る。

童謠

夜中

大廣場小學校二年 柴田正一

僕は毎ばん
ねる時に
あんよものばし
手ものばし
ちやんと上むいて
おなかまで
おふとんかけて」
ねるんだが
ママにきいたら
夜中には
おふとんけるし
まくらもはづす
右へころぶし
左へ行くし」
なんどもママが
なをすんだつて
僕のからだが
おもいから
ママがへいこう
するそうだ」
僕はちつとも
しりません
朝目がさめると
ちやんとして
ゆうべのまんまに
ねてゐます

お祭り

聖德小學校四年 木村吉孝

おまつりまつりだ
まつりだよ
おみこしさまだよ
みんなでよ
かたにかつぐよ
うれしいな
かつぐよかつげよ」
わつしよいだ
かたにかついで
わつしよいだ
あるけよあるく
うれしいな
はしれはしれよ
うれしいな
よいさよいさで
ばんざいだ

やさいやの車

金州小學校尋二 戸崎巖

やさいやの車は
いろいろだ
とまとやにんぢん
赤いべべ
だいこんかぶは
白い色
はくさいしゆんぎく
みどり色
まるいおいもは
うすもゝいろ
やさいやの車は
きれいだな
赤白まぢつて
きれいだな。

十五日から始める空の旅の申込み

僅かに半時間で滿員

いの一番は六十七歳の老人

【東京八日發電】日本空輸會社では來る十五日より開始する東京、大阪、福岡間の旅客輸送の切符を八日午前九時から櫻田本鄕町の飛行館內同社營業所で賣出したが、昭和企業會社取締役左右田信次郎氏は六十七歳の高齡にもかゝはらず是非初乘りしたいとあつて朝八時から待受け目出たくナンバーワンの切符を手に入れて大ニコ〳〵

「私は大の旅行好きで家族が飛行機だけはと不贊成を唱へたが、ナーニ大丈夫です」と元氣な所を見せた、僅か三十分間で大阪行五枚、福岡行一枚は全部賣切れ二十餘名の客は翌日廻しとなり最初の店開きは上々の景氣であつた

御料林列車河中に墜落

三名死傷

【木曾福島八日發電】帝室林野木曾支局出張所管內の六輛聯結森林列車は八日午後三時半頃大桑村字阿寺樽ケ澤に差しかゝつた際、四日來の雨のため地盤が弛んだ爲めか河中に墜落し乘組人夫十九名中一名死亡し二名重傷を負ふた

全鮮軟球選手招聘に應じ來連

全滿鐵、全大連と對戰

全朝鮮軟庭球選手一行十八名は滿鐵軟球部の招聘に應じ十日夕京城出發、十一日午後八時三十分大連着の筈であるが、一行の試合豫定日及び選手は左の如くである

十三日午後三時　對大連滿鐵軍
十四日午後一時　對全滿鐵軍
十五日午後三時　對全大連軍

場所北公園滿鐵コート

村上（鮮鐵）中川（鐵道）張三上（道廳）渡邊（道）鄭士（鐵）
金野（銀）黃（殖）鄭元（商）
劉（銀）吉村（殖）劉（銀）
洪（商）鍵谷（鮮）長沼（鐵）
孫（銀）中川（銀）秋山（道）
監督　馬渡　總務　赤木

因に同チームはかねて定評のある中川、渡邊組、洪、孫組を始め、かつて早稻田庭球王國を造りし時の主將三上等全朝鮮の精鋭をすぐりたるものなれば可なりの接戰が演ぜられる事であらう

船舶試驗施行

來る八月十日頃大連海務協會に於て施行する筈の第九回臨時船舶職員試驗について今回遞信省より協會へ受驗者の科別員數を紹介して來たさうであるが、當局者は着々その準備を進めて派遣試驗官も決定發表する筈であると、なは八日迄協會へ受驗の申込をなしたる者甲板部九十三名、機關部四十五名、計百三十八名の多數に上り從來に見ない成績である、未だ申込をなさない受驗希望者は此際至急協會へ申出られたいと

柔劍道試驗の委員決まる

從來十月初旬に擧行されてゐた武德會武道階級試驗は既報の如く十三日午前九時より大連警察演武場十四日午前九時より奉天警察演武場に於て擧行、當日は何れも一般に公開の筈であるが、受驗資格者は二級以上で三級以下のものは各支所長の推薦を要し、尚受驗者は各所長がまとめて名簿を出す事になつてゐる、試驗方法は試合、地稽古を五とし時に學科を課す場合もあると因に試驗委員は左の如く決定した

大連▲柔道（大木、山田、前田、山根）▲劍道（小關、高野、木村、大內）

奉天▲柔道（大木、山田、平出、梶）▲劍道（辻、松島、杉目、林）

在米邦人飛行家世界一周の壯擧

ロスアンゼルス出發

【東京八日發電】在米邦人民間飛行家後藤某は去る二日ロスアンゼルスを出發世界一周飛行の途に上つた旨、後藤後援會より海軍兵學校長永野中將宛入電あり、右につき當局では未だ何等報知なく詳細は不明であると語つた

少年團の國際的露營

峽中の勝地で

【東京八日發電】少年團日本聯盟では本月七日から十四日迄山梨縣日下部在の笛吹川上流で合同夜營を爲すが同キャンプには來朝中のサクラメント少年團四十四名遙羅少年團廿五名も參加し夜は國際的篝火の團欒を催し舞踊演說ページエント等國際的交驩にひたると

鹿兒島縣水害

【鹿兒島八日發電】六日夜來の豪雨は八日に至るも歇まず縣下各地の水害甚だしく道路の崩潰橋梁の流失等數知れず川內町は一面泥海と化し床下浸水一千數百戶に達し出役場は焚出しに忙殺されてゐる、出水阿久根地方も被害多く死者は今の處五名あり電信電話全部杜絕し詳細不明である

不夜城と化して

星ケ浦納涼園愈よ開く

來る十三日から八月十八日迄

南滿電氣並に滿鐵社會課主催となり豫て計畫中であつた星ケ浦納涼園は愈〻來る十三日より八月十八日まで三十七日間、毎日午前七時より午後十時まで開かれることになつた、場所は星ケ浦遊園東海岸ヤマトホテル下廣場で遊園正門を入口とし別莊の西側に沿ひ海岸に至る道路より下り東は淸濱館、西は龍宮堂賣店に至る海濱一帶を會場とする筈である、滿電では一千キロワットの燈光器で照明をなし全部で約五萬キロの納涼用イルミネーションを點ずることゝなつてゐる、尙園內の設備としては脫衣場二、洗面場二、賣店四、水族館及附屬賣店の外ブランコ、辷り臺、金棒等を設備するほか會期中は隔日位に活動寫眞、花火、音樂の演奏會を催し一般納涼者の興を添へる筈であると

三人組の馬賊が通行人を拉去す

安東縣水源地附近で

【安東特電八日發】三道浪頭鮮人周學林は友人三名と中江林の友人の息子の結婚祝ひに招かれ八日午後五時頃歸途につき水源地附近に差かゝりし際他の三名に遲れたる周は三名の怪支那人のために山中に拉去されたので友人等は此旨派出所に屆出た、安東署では馬賊の人質拉去であらうと守備隊員と協力附近山中を搜査したが手懸りなく目下嚴探中

車道を橫切り女轢殺さる

昨日浪速町三丁目でリリータクシーに

八日午後二時十分ごろ大連浪速町三丁目一〇八梅園前車道において大連民政署稅務係森梅松內縁の妻春井アエ（四七）は向ふ側へ橫切らんとして伊勢町方面より疾走して來た與町二八リリータクシー運轉手李緖臣（二〇）の操縱する公自動車に右肩より突倒され仰向けに倒れた處を更に同車の左車輪で頭部及胸部を轢かれ二、三間引き摺られて人事不省に陷り自動車は惰力により更に步道に乘り上げ胡藤並木に衝突して漸く停止した、この騷ぎに附近の人々駈け付け、アエを滿鐵醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが、腦震盪並に內臟破裂により蘇生しなかつた、急報に接し檢察局より春木檢察官事務取扱、大連署より新妻警部補吉岡部長一行現場に出張し檢證の上、加害者李を傷害致死犯人として引致した

妻の遭難を知なかつた

同道の夫語る

右に關し加害者運轉手李緖臣は

けんとすれば右に來り左に避けんとすれば左に來るので停車せんとしたが、生憎またブレーキかゝらず遂に惰力によつて轢いて了つた

と語り被害者の夫森氏は悲歎の淚に暮れながら

妻と一緒に買ひ物に出て梅園の前から向側の浪速館の方へ移らうと自分が先に立つて橫切つた處が何時まで立つても妻が來ないので後を振り返つて見たら妻は既に轢かれて了つてゐたので當時の模樣は薩つ張り判らない

と語つてゐた、尙死體は解剖に附する模樣である

保健をめざす星ケ浦家族會館

愈よ十日から開らく

滿鐵の社會課ではこの十日から「星ケ浦家族會館」と云ふのを開くことゝなつた、場所は星ケ浦溫泉前のもと白井氏宅で大連に居住する人々の家族の保健を考へて一般に開放することゝなつた、尙餘裕ある時は沿線の滿鐵社員家族の宿泊に應ずると云ふ、開館時期は七月十日から卅日迄で、室は十四室、室代は

	午前	午後	建物
四疊	四〇錢	六〇	七〇
八疊	六〇	八〇	一〇〇
十二疊	一二〇	一二〇	一五〇

尙一人を增す毎に四疊は二十錢、八疊は三十錢、十二疊三十錢と云ふ內わけ、食費は三食で八十錢、寢具は一日一組十五錢、なほ宿泊者でも保護者の同伴せぬ老幼病者及び疾患あるもの、一般傳染病者は謝絕すると、申込みは滿鐵及社會課又は星ケ浦家族會館宛のこと【寫眞は星ケ浦家族會館】

・密夫ありと思ひ殺す氣になつた

妻殺し犯人の自白

大連飛驒町五檜山勇二郎方にて妻ナツ（三〇）を殺害した前田久太郎（四〇）に對し大連署大崎警部補は八日午後二時より殺害の原因その他に就き再び訊問したが、久太郎は大崎警部補からナツの絕命を聞いて「死んで了つたか」と流石に聲を落しながら

仁川に引揚げるといふので當日は逢阪町の相生樓から妾の荷物を馬車二臺に積み自分はソレに乘り妻と子供とは人力車に乘せたが途中妻子の姿を見失つたので引返し多分相生で

情夫と

媾曳してゐるに相違ないと思つて相生に行つた處が別の女が變な擧動で斷り更に飮食店夜明とつる家に行つて搜したが同じく斷られた、止むなく檜山方に歸つた處既に歸宅してゐるので子供に訊いた處母ちやんと大きな家に寄つて來たといつた、其處で妻を責めたらみどり溫泉に行つて情夫に會つてゐた、貴方に踏み込まれたら大變であつた等といひ、其上今仁川に行きたくない等と

反對し

出したので愈よ自分を棄て情夫と一しよになる考へだなと推察し嫉妬のあまり妻を殺し自分も死ぬつもりで支那人の床屋から剃刀を借りて來て、妻が履物の事で玄關にしやがんだ處を後方より斬りつけ自分も死ぬ心算であつたが檜山に制止されて果さなかつた

と順序立てゝ述べてゐた、死人に口無しで果して妻女に情夫があつたか否かは不明である

寶塚對滿倶一回戰

けふ午後四時＝滿倶球場で

強豪寶塚軍の練習振

きのふ午後滿倶球場で

けふ滿倶と第一回戰を行ふ寶塚協會軍は八日午後四時から滿倶球場で最後の練習を行つたが一同は氣持の良い當りを見せてゐた＝【寫眞は同軍の打擊練習と夫を指導してゐる河野安通志氏（右の洋服）と堀監督（左の洋服）】

星ケ浦に死處を求め

若い藝妓家出

八日星ケ浦溫泉ホテルに泊り込んだ粹な婦人あり只一人終日一室に閉ぢ籠つて溜息を吐いてゐる樣子に女中も變に思つて居たが星ケ浦派出所員が一應取調べた處初めは唯シク〳〵泣くのみで名前も打明けなかつたが漸く逢坂町浮舟の藝妓豆千代事山口ミツ子（二〇）と判り前日午後七時頃髮結に行くと稱して家出した儘歸らず豫て搜索中のもので直に樓主を呼出して午後四時半引渡したが事情を聞くに彼女は最近容色衰へた此頃餘り賣れず從つて樓主に良い顏をされず世を果敢なみ死場所を求めて星ケ浦に行き夜になるを待つて身投せんとして居た處を危ふく救はれたものである

ゼ社の生産

一ケ月三千四十七臺

六月中に日本ゼネラル・モータース大阪工場はシボレー・ビウイク其他を併せて總生產高三千四十七臺といふ新記錄を作つた。今では東洋に於る最大製造能力ある自動車工場となつた

追善演奏會

一築會主催一樹會後援で故三原順三氏追善演奏會を十四日開催、會場は大連機械製作所俱樂部で入場隨意

弓術千射會

大連支部成績

武德會大連支部では西公園道場にて十日間に亘り弓術千射會を催し八日終了したが五百中以上の成績を得たる者左の如し

九一八中竹內克巳、八一三中安達丈平、七四一中石松豐太郎、六五〇中伊奈雅藏、五八〇中鴻巢藏、五六〇中丸田甚一、五二〇中四元禎盛

濠機アゼンスへ

【バグダツド七日發電】オーストレリア飛行機サウザン、クロツス號はイギリスに向け飛行の途本日當地に到着し更にアゼンスに向け飛行を繼續した

けふのラヂオ

昭和四年七月九日（火曜日）

自午前十一時　相場（糸、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場、特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式各地相場）ニユース
自午後三時五十分　野球連絡放送（滿倶對寶塚第一回戰）
自午後七時三十分
一、ニユース
二、支那語講座「實用支那語會話」（滿鐵學務課）秋父尙太郎
三、長唄「吾妻八景」（唄）大森夫人（三味線）許屋正春（上調子）（高山席）光榮
四、俚謠「安來節」（コノヱ會）梅家千兩
五、支那劇「烏盆計」遼東俱樂部々員
六、料理獻立
七、天氣豫報

愛慾の窓(33)

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

生活の淵(一三)

「、、、御心配には及びませんよ、運轉手にはさう吩咐てありますから、牛込のお宅の御近處へゆけば知らせてくれます」

小森はさう云つて、にやくと笑つた。醉ひにほんのりと眼瞼を染め、濡れた唇には葉卷を啣えて、英輔はおちつき拂つてゐた。

「……先刻のお話は、何うですから、アラウネの一件は……?いや、實は僕、あなたには一度ゆつくりとお會ひしたかつたんですよ」

彼は云ひはじめた。

「……わたしも、一度ゆつくりお目にかゝつて、いろくお話をしたいと思つてゐましたわ」

と、美知子も云つて、小森の顔を見返した。

「……ほう!さうですか、それは好い都合だつた!」

と、英輔は美知子の言葉を意外に感じて、おぼえず眼を輝かしたが、

「……僕はまた、あなたが僕のやうな人間を忌避なさりはしないかと思つて」

と悦に入つた面持ちだ。

「あら、何うして?わたし、あなたを初めてお目にかゝつた時から好いてゐましたわ!ほゝ、でもそんな云ひ方をしてはいけないか知ら……?」

美知子はさう云ひながら、相手の掌で自分の頬を挾むやうにした。

「……わたし、まだ子供なんですのよ!だから物の云ひ方も何も知らないんですの!敎へて下さいましね、わたし、心からあなたにお願ひしますわ、わたし、ほんとに何も知りませんのよ」

「……は、、あなたはとても可愛らしいなあ!何て可愛いことを云ふんだらう!」

英輔は、さも可愛くて堪らないといふ風に叫んで、つと腕を伸ばすと、美知子の手を握つた。

が、美知子は別段その手を引つ込めようともしないで

「……聴いて下さる?」

「え、、あなたの仰有ることなら何でも!」

英輔は彼女の指をまさぐりながら、熱ツぽい眼で食ひ入るやうに美知子の横顔に見入つてゐるのだつた。

「……わたしのパ、は、もと或刑務所で——その時分は監獄と云つてたんですね——基督教の教誨師を勤めてゐたことがありますのよ」

と、美知子は静かに語りはじめた。

「その時分にね、強盗殺人といふ恐ろしい罪を犯した男の人が、死刑に處せられることになつたんださうです……。で、わたしの父は、最後の祈禱をその不幸な男のために天國の父なる神に捧げてやつたのださうですが、兇惡無殘なその男は、死刑の直前まで、罪を懺悔するやうな樣子はなく、また少しも惡怯れないで、刑の執行を受けたといひます……。が、その男には、病床に臥してゐる妻と、まだ漸く乳離れのしたばかりの子供が有つたんです、男の子でした」

と、美知子は次第に沈んだ聲で語つて來て、そこで言葉を休めた。むしろ、彼女の顔色は、またさらに青ざめたやうである。

「……その男の子が、わたしの現在の弟龍吉なので御座います!父は、教誨師として、その死刑囚の遺族を訪れ、何くれとなく世話をしてやつたやうですが、やがて幼い子供を殘して、病氣の母親も世を去つたのですね。で、自然、わたしの父は、その孤兒を自分の懷に引取るより他はなかつたのでせう、わたしの家庭へ連れて來て、育てることになりました。その時、わたしは漸く三つでした。その罪人に殘された子は、そこで一つ年下のわたしの弟として、わたしの家庭の立派な一員となつたわけです……」

七月川柳課題

七月十日締切
「暗　號」　篠田静雪選
七月十五日締切
「扇風機」　高橋月南選
◆用紙はがき必ず別記のこと
滿日文藝係

新刊紹介

▲謎の人形師(佐々木味津三著)　佐々木氏の長篇大衆小説は既に定評がある、本書は幕末に材をとり義氣、悲戀、妖氣、陰謀、縱横に交錯して感興横溢する讀物である(四六版四七二頁一圓三十錢東京市麴町區下六番町平凡社)

▲ユダヤ禍の迷妄(滿川龜太郎著)　ユダヤ人研究に造詣の深い著者がユダヤ禍の迷妄を打破する目的にてその恐るゝに足らざることを明にしたもの、前編ユダヤ正觀編ではユダヤ人を赤裸々に解剖してゐる(四六版二六六頁東京麴町區下六番町平凡社)

▲明治大正、實話全集第二巻　本巻には悲戀情死實話を收む、有島武郎、野村隈畔、北川三郎、芳川鎌子、抱月須磨子等の情死事件を極めて巨細に麗筆で叙してゐる(四六版四八五頁同上)

▲同第八卷　現代人は端的な刺戟赤裸に於て本全集は時宜に適ふた全集であり、本集には今に我々耳目から消えやらぬ生々しい大膽な而も巧妙の限りを盡くした代表的の詐欺横領の實話を多數蒐めてゐる(同六一四頁同上)

▲愛の苦行(石丸喜世子著)　凡人から淨土への道それは愛の苦行であり、行そのもの中に凡人の救と光明とがあらう著者のかゝる體驗、思索を輯めた感想集である(四六版二三三頁千葉市寒川新宿人生創造社)

▲藝術寫眞の知識(中島謙吉著)　前後八年に亘る研究の結果上梓したもので本書では主として藝術寫眞の精神を說き概念を詳述してゐる、寫眞六十四葉を添ゆ(四六版二四〇頁、東京神田區今川小路アルス)

▲殘花一輪鐵血(戰記名著集第一巻)　前者は市川少尉の手になる日本海の大海戰、後者は猪熊中尉の物した旅順攻落戰、奉天大會戰等の內容を有つ出版當時白熱的大歡迎を受けた讀物である(四六版五百五十頁東京神田區錦町戰記名著刊行會)

▲白蝶秘門(高桑義生著)　目下報知紙上に連載して大好評を博してゐる德川幕府初期の史實に材を採り極めて興味津々たるもの後篇も何れ現はる筈(四六版四六四頁一圓三十錢東京麴町區下六番町平凡社)

▲鷗外全集第五卷　氏の處女作うたかたの記を初め後期に至る三十八篇の創作小說を輯む、何れも珠玉の文字燦然と光輝を放ち不朽の著作のみたること萬人の知るところ解說を要しない、全くこの普及版あるは讀書界の福音である(四六版五五〇頁東京麴町區內幸町鷗外全集刊行會)

▲農業世界(七月號)　東京市日本橋區本石町三丁目博文館(定價四十錢)

▲東方之國(七月號)　東京市麻布區笄町東方之國社(定價三十五錢)

▲社會研究(七月號)　大連市松山臺五滿洲社會事業研究會(定價六十錢)

夕刊
滿洲日報
七月八日

四派首腦部北平に會合 愈よ諸重要案件を協議

外遊、編遣、西北問題等につき結果を重大視さる

【北平七日發電】馮氏の條件を帶びた馬福祥氏は既に來平、張學良氏も七日夕着平したので蔣介石氏は國民政府首席の資格を以て八日より蔣、閻、馮、張四派首腦部に依る全國善後大會を開くことゝなつたが其の内容は

閻馮外遊問題 閻氏は北支の重鎭なるを以て正式に慰留する、馮氏は外遊の場合は充分敬意を表すると云ふに決せん

西北問題 西北四省の軍政一切の善後策は其の實行方法を閻氏に一任さるべし

編遣問題 馮軍の改編移管を詮議し次で山西、東三省各軍の縮小整理を實行すべく其の具體方法は過般の編遣會議の決定を基礎とし特に其の實行方法を討議する

以上の外西北政府改組問題等重要案件尠からず、軍事方面は本會議を以て全國軍憲を統一し國民政府首席の下に直屬せしめんとするもので、その結果は編遣會議以上の重要性を帶びてゐる

物々しき警戒裡に 張學良氏北平到着

【北平七日發電】張學良氏は衞隊一千名を率ゐ天津まで出迎へた蔣介石氏代表何世濬氏、閻錫山氏代表朱綬光氏、國民政府代表方本仁氏と共に午後五時十五分一年振りで來平した、之より先午後四時半着平せる張學良氏の衞隊五百名は北平驛から北京ホテルに至る間を機關銃を擬して嚴重に警戒し其の物々しさ敵地に入つた觀あり、蔣閻兩派各要人多數出迎へ裡に北平ホテルに入つた、なほ張學良氏は滯在一週間の豫定で從者衞隊の宿舍として北京ホテルの舊館全部借切り滯在期間中此處に司令部を置くことゝなつたが、北京ホテル新館には蔣介石氏あり、舊館の張學良氏と廊下續きで茲數日間は幾多の重要往復が重ねられるであらう

學良氏先づ閻氏と密議

【北平七日發電】北平ホテルに入つた張學良氏は何成濬氏と閻錫山氏の慰留につき種々協議するところあり、閻錫山氏を病院に見舞はんとしたが閻錫山氏は病を押して北京ホテルに來り六時半から張學良、閻錫山兩氏は人を遠ざけて密議を凝らした、閻氏辭去後張學良氏はドイツ病院に閻氏を見舞ひ更に約三十分密談してホテルに歸つた

蔣氏に苦境を愬ふ

【北平七日發電】北平總商會は今朝一千餘名の代表を北平飯店に派し蔣介石氏に對し國都が南京に移つてから北平の衰徴甚だしく商民苦境に在り再び國都を北平に還すか其の他の方法で北平市民を救助され度いと請願した

閻馮兩氏の外遊 遂に十月まで延期

閻氏の相談に馮氏同意

【北平八日發電】閻錫山氏は昨夜ドイツ病院を退院し自宅に歸つたが、蔣介石氏の必死の引留に依り先づ西北軍及び山西軍を整理し約三月の後之が完了を待つて外遊すゝなつたることに決し馮玉祥氏の同意を求めたところ馮玉祥氏も異議なく同意し馮玉祥、閻錫山兩氏の外遊は茲に本年十月までは實現せぬことである

と東三省の外交諸問題を協議した後、蔣介石氏の依頼を受けて馮玉祥氏に單獨外遊を勸告するため

一平民として太原で靜養

馮氏毎日讀書に耽る

【太原七日發電】馮玉祥氏は閻錫山氏外遊中止を聞き非常に驚愕し自身も外遊を思ひ止まり當分一平民として太原に靜養するに決し毎日讀書習字に日を送つてゐるが、蔣介石、閻錫山、張學良三氏の北平集合に對し少からず神經を尖らし馬福祥氏に會議の模樣を報告するやう電命した

王正廷氏 北平に急行

【南京八日發電】王正廷氏は蔣介石氏の招電に依り本日午後北平に急行する筈である、右は張學良氏

車夫事件解決す

【漢口七日發電】全國的反日運動の主なる原因の一として久しく解決困難であつた車夫鑿殺事件は我當局と支那側との間に本日文書の交換を了し解決を見るに至つた、其條件は左の如くである

一、日本總領事より文書を以て死亡の事實に對し同情の意を表すること
二、遺族に對し三千六百弗支出すること
三、該事件發生のため失業せる工人の復業は別に考慮する

右三條件だけであつて保管されてゐた車夫の死體は本日支那側に引渡された、今後の反日運動は支那官憲から告示を出して嚴重取締るはずである

モダン官邸の新舊主人 事務引繼を了つて記念撮影

解散の要求あるも政府は結局應ぜぬ

對選擧準備未成と貴院關係顧慮 先例無しとの口實で

【東京特電八日發】濱口内閣成立に伴ひ臨時議會の召集を奏請して新内閣の政綱政策を表明し直に衆議院を解散して信を國民に問ふべしとの説は各方面から提唱されてゐるが濱口首相は愼重事に處するを必要とすといふ見地から結局臨時議會は開かぬと決した模樣である、即ち解散論は謂ふまでもなく

一、新内閣の與黨は第二黨であるから來議會は當然解散を覺悟せねばならぬ
一、同じく解散するならば政策上今日が最も適當である
一、開かざる議會を解散せる前例は無いが憲法上差支はない、然し此の形式を避くるには特に臨時議會の召集を奏請すれば差支へない
一、要するに孰れにしても現内閣のためには此の際民意に問ふべきである

といふのであつて此等の意見は與黨内にも有力に唱へられ其の他無産黨及び政友會側でも別の意味に於て主張してゐるが濱口首相はじめ政府の首腦部は

一、我帝國議會に於いては臨時議會を召集して政府の信任を問ふが如き慣例は無いこと
一、組閣直後政務多端の今日總選擧に沒頭して國務に支障を來すが如きことは大に考慮を要するとて難色あり更に貴族院方面に於て議會の解散は努めて之を避くべしといふ意見を持しつゝあるのと政府自體の對選擧準備が未だ出來てゐないために此際解散を斷行する勇氣はないものと見られてゐる

金解禁斷行 準備的政策明示

施政方針の聲明書は 江木鐵相が鎌倉で案文作成

【鎌倉八日發電】政府は九日の閣議にて現内閣の施政方針に關する聲明書を決定する爲め江木鐵相に之が案文を作成せしめつゝあるが江木鐵相は右につき六日來鎌倉海濱ホテルにて文案を練りつゝあり聲明の内容は所謂金解禁問題を中心とした準備時代としての諸政策を遂行するにつき之を具體的に明示せるものであつて、之は準備的諸政策即ち一大緊縮方針に依つて物價の低落を來すとも之に依つて國民經濟の上に之に堪へ得るやう國民の決心を促し金解禁を斷行するとも經濟界に影響なからしめんとするものである、江木鐵相は右案を携へ八日午前歸京各閣僚に案の内容を提示し諒解を求め然る後最後の決定を爲す筈で鐵相は之が聲明書作成の爲め鎌倉に滯在中一回も濱口首相を訪問せず右に專念してゐる

國民一般に節約奬勵

井上藏相が地方遊説

【東京八日發電】現内閣は徹底的緊縮方針を立て以て現下の財界の立直しをせんと意氣込んでゐるが之には單に政府事業の緊縮のみならず國民一般の消費節約に俟つて初めて効果有るものであるとし國民に對する消費節約の宣傳に努めることゝなり井上藏相自ら機會有る毎に地方遊説に出掛け節約奬勵に努めることゝなつた

濱口首相歸京

【東京八日發電】組閣後靜養のため七日朝鎌倉由井ケ濱別邸に赴いた濱口首相は八日午前十時三十分鎌倉發十一時四十九分着列車で歸京直に首相官邸に入つた

部長異動 本日發表か

【東京八日發電】地方官部長級の異動につき安達内相は七日午後齋藤内務次官、内ケ崎參與官、大塚、三邊、次田各局長を招致し銓衡協議なすところあり八日首相の諒解を得た後勅任は持廻り閣議にて決定し奏任級と共に本日午後三時頃發表のはずである

關東廳實行豫算編成替への協議

緊縮方針に基いて

政府の緊縮方針に基き關東廳でも四年度に於ける豫算の編成替へをせねばならぬので安藤經理課長は布施理事官、大森主計、土屋屬と共に協議を爲し實行豫算に關する打合せを遂げ大體の根本方針を樹てることになつた、右につき安藤經理課長は語る

別に東京電報に傳へられるが如く天引き五分といふことはこちらには通知がない、然し緊縮せねばならぬだらうからその爲め實行豫算の研究をしてゐる

又復膠東一帶に戰雲低迷す

張宗昌氏を追ひ出して膠東一帶をマンマと手に入れた劉珍年氏は自己勢力擴張のために貪婪飽くなき暴政をもつて良民を苦めてゐるが八日芝罘より入港の永利號乘客のもたらしたところによると、劉珍年氏は自己の地位保持のため自己の友人**親戚**をもつて膠東各機關の要職に任じ地盤築きに忙殺されてゐるが、最近山東省政府主席委員たる陳調元氏が新しく膠東各縣知事及び芝罘交渉署員を新任し、從來の劉氏が任命した者と交換する樣嚴命して來た、然るに劉氏は自己地盤の崩れるのを恐れその命令に服從せず、暗に陳調元氏に對し敵對行爲に出やうとしたので、端なくも陳軍對劉軍との雲行險惡となり陳調元氏はさきに**服從**した孫殿英氏をして劉軍討伐の兵を起さしめる事となつた

全日本一周視察團

一部豫定を變へて決行 來る八月八日大連出帆

夏休みを利用して約一箇月の船旅行を續ける全日本一周視察團は發表以來非常に好評を博したがバイカル丸事件の結果使用船に故障を生じ一時團員の募集を中止してゐたが、豫定の一部を變更して左記要項により決行することゝなつた、南は臺灣、北は樺太、千島まで本州、九州の各都市に寄港して最近の祖國文化に接する絶好の機會を逸せぬよう滿蒙北支在留同胞多數の參加をお勸めする

一、使用船　アメリカ丸（總噸數六、二〇〇噸）
一、期日　八月八日大連發、九月二日大阪歸着解散　但し滿洲、青島よりの參加團員には神戸、大連間の大阪商船定期船乘船券を交附
一、行程　神戸―大連―青島―臺灣―長崎―宮津（天ノ橋立）北海道（函館、小樽、札幌）樺太（大泊、豐原）千島―横濱（東京、日光）―大阪（解散）
一、團費　A級百五十圓　B級三百五十圓　AB兩級共豫約金三十圓を申込みと同時に申受く、豫約金は取消其他如何なる場合にも返戻せず
一、申込締切　七月三十一日限（但し滿員となり次第〆切る）
一、申込所　ジヤパン、ツーリスト、ビユーロー大連、奉天、營口、長春、撫順、安東、哈爾賓、滿洲里、天津、北京、上海各地案内所▲滿洲日報社並に各地支社支局▲大阪商船大連支店

主催　ジヤパン、ツーリスト、ビユーロー大連支部
後援　滿洲日報社　大阪商船會社

近く開かれる市會で議長問題を論議

四圍の情勢より見て 結局滿鐵側から選出されん

助役問題に頓挫して其儘三類みの形となつて終つた大連市會は其後殆ど無風狀態で推移して來たが、過日の參事會で前助役以下の退職**慰勞會**が決定したので當然近く市會が開かれることとなり必然的に村田前市會議長の後任問題から再び助役、收入役、社會課長の後任問題が論議される氣運が濃厚となつた、石本市長は右について「慰勞金に關する市會は遲くも本月中に開會するからその際議長は市會自らが決定するであらう、その上で助役收入役の問題もなるべく早く解決したいと考へてゐる」と云つてゐる、目下噂となつてゐる議長の候補者は革新派では大内成美氏、**擁護派**では恩田熊壽郎氏、滿鐵側では牛島、二村、金井の三氏であるが、大内議員の就任は當人自らとしても、亦市會の形勢から見ても困難であり、恩田議員は擁護派が自派から議長を出すの意志乏しく、寧ろ議長の椅子を他に讓つて市會の行詰りを好轉せんとする風があるので實現性薄く大體に於て空氣は滿鐵側より選出するに傾いてゐる、しかし滿鐵側としては直に之に應ずる模樣はなく、三議員とも一應辭退する形勢にあるが、市會の現狀を救濟し、各種の**案件を**解決するために議長の椅子まで空けて置くことは出來ぬ情勢にあるので結局牛島、金井、二村の三議員中より選ばれると想像され、助役其他の問題も議長決定と共に意外の進展を見るかも知れぬ

山崎本社長 明朝歸社

上京中であつた本社長山崎猛氏は明九日入港のうらる丸で歸社する

羅馬、東京間 飛行を計畫

【イタリー、ミラン七日發電】イタリー飛行家コンマンダント、マツダレナはローマ東京間飛行を企て途中二回だけ着陸する豫定であると

州内沿岸の水路調査終了す

竹内大佐けふ内地へ

海軍水路部水路大佐竹内輝次氏は關東州沿岸の水路調査を終へて八日大連出帆のはるびん丸で歸任の途に就いたが氏は語る

私は朝鮮における大同江、鴨綠江の水路、水量の調査及び關東州の沿岸に如何なる變化を來したかを調査のため來滿したものである、海軍では必要としないものでも復州、貔子窩、長山島等の堆積出地の沿岸水路等は民間に極めて重大な關係があるから一通り調べた、また關東州は最近船舶の碇泊地が非常に多くなつたので之も調査した、州内の航路標識の問題については直接海軍としては必要ないかも知れないが、私達の調査が大きい力となる事は事實である、要するに案外非生産的な海軍側で行つた水路調査が如何なる形であらはれるか見てゐて頂きたい

大觀小觀

◇支那側は幣原外交を以て、對支迎合外交と心得てゐるらしい。之が根本的の錯誤。

◇「田中外交は首相の外交、幣原外交は外相の外交」之れだけが差違だと大谷光瑞氏は曰ふ。

◇學良氏、鞠躬如として北平に伺候す。歸りは水母のやうになつて來るよと譏合ひ。

◇金解禁もいつのことやら判らず滿洲事件も發表の可否講究中とある。在野と在朝でこれだけ豹變する。

◇序に解散も斷念して反對派切崩しでもやれば世話はない。

◇滿鐵の政變で有象無象氏等盛に暗中飛躍しつゝあり。

天氣豫報

九日曇り一時晴れ但し驟雨模樣 南東の風
日出四時卅五分日沒七時廿二分
滿潮前十一時五十分午後なし
干潮前五時十五分後六時卅五分

小學生の水泳始まる

—けさ常盤小學校前でうつす—

水產事件愈よ擴大 關東廳に飛火か

花柳界方面の取調べて贈賄暴露 續々證人呼出を喰ふ

滿洲水產會社および關東州水產會の不正事件で緊張し切つてゐる檢察局では八日も池內檢察官は午前十時より逢坂町一五〇貸座敷末廣樓主井村勝太郞及び同町一四八貸座敷千代喜家仲居水田キクヲに昭和二年および同三年の水揚帳を持參出頭を命じ、先づ井村より檢察官室において山崎書記立ち會ひ證人として正午まで訊問し種々證言を徵し、更に水田を呼び入れ同樣證言を徵した、事件はいよ〳〵關東廳にも飛火したもの〻如し昭和二年十月十七日老虎灘稻荷山に祠の建立された祝賀式の當夜より某々等はその地位を利用し水產會社の佐治、川上等に買收されまた之を奇貨とし、今日まで十數回に亘り前記末廣樓並に千代喜家において遊興の贈賄を受けたもので、本日井村および水田が持參した帳簿並に本人等の訊問によつて

明瞭と

なつた模樣である、要するに之等は數日來取調べてゐた待合「よし家」同「千草」よりの逆り込み並に藝妓等の證言その他によつて端緒を得たもので向待合新喜樂等よりも逆り込みを行つてゐるとの事である、池內檢察官は之れ等の事情を一層明瞭にする爲め更に同一時三十分より前記某々等の係り仲居であつた末廣樓の中村マツおよびその鄰娼になつた藝妓秀勇、君勇、千代丸等を證人として續々呼び出し訊問を進めてゐる

父兄會代表 陳述書を提出す

けふ吉野地方課長と會見 公學堂兒童毆打事件

既報沙河口公學堂の兒童毆打事件は父兄側に於て從來からの學校當局に對する鬱積せる不平もあつて益々深刻化し六日父兄會を開いて種々學校當局の冷淡不親切な態度を攻擊し大に氣勢を擧げたが、八日午前十時左の如き要領の陳述書を持つて父兄會長孫午蓮氏ほか十數名民政署に

押寄せ

吉野地方課長に面會して種々陳述するところあつたが、慰撫されて引下つた

一、從來學校當局は父兄側に對して冷淡で能く連絡を圖らず卒業式學藝會等にも招待しない

一、昨年十月同校初等科四年女生奕桂香及び夏譚三、同二年女生張小玉が危く誘拐されんとしたる

の〻其因は學校の不深切に發する事

一、今春同校教員張元德は盧賢德の長男を毆打負傷せしめたこと

一、同校父兄は大抵附近の百姓及び一般貧しき者が多く從つて生徒の服裝も貧しいが同校教員の中には往々お前等は苦力の樣に汚いと侮蔑的言辭を弄する事

教育會對抗競技 州內選手の豫選

きのふ旅順で行はる

南滿洲教育會にては來る九月廿一周年記念のため州內外對抗陸上競技を擧行するので七日午後一時から州內初等部の豫選を旅順グラウンドで行つた、參加者廿五名で藤田學務課長、市橋、村上兩視學、山本主事、岡澤指導員、旅順第一中學平田、第一小學高橋、第二小學古賀の各學校長、山口公學堂長に大連からは岡本、倉井、松原三學校長列席、選拔の結果左の如く選手を決定した

百米（石田、佐藤、趙）▲二百米（石田、佐藤、趙）▲四百米（石田、松尾、三岡）▲一千五百米（石田、趙、青島）▲砲丸（仲村、松本、常岡）▲圓盤（常岡、中村中谷）▲走巾跳（杉山、松本、佐々木）▲走高跳（杉山、橫尾、坂本）

なほレコードは對抗上發表せぬと

英帝御快癒

感謝祭執行

【ロンドン七日發電】英國皇帝ジョージ五世陛下御快復の感謝祭は本日ウエストミンスター寺院にて行はれ皇帝陛下はじめ各皇族御參集大鉦嚴かに鳴らさる〻裡に監督の禱りあり一同國歌を合唱した

馬賊逮捕演習

大連署においては七日午後十時を期し

今夜午後八時千代田廣場の支那人兩替店に馬賊闖入金子五千圓を强奪逃走したり

との强盜手配を市內各派出所並に獨身宿舍に通達し高山署長を初め主任級一同出署、非常召集を行つたが、右は最近事件なく署員一同の意氣が緩んではとて豫告せず突然非常召集演習を行つたものである

濟州島南端で 春山丸坐礁す

自力離礁は見込なし

昨七日夜大連無線電信局で受信したところに依れば山本商事株式會社所屬汽船春山丸（二三五九噸）は同日午後九時四十五分濟州島の南端（北緯三三度十四分、東經一二六度四十分）で坐礁した、人命には異狀がないが自力離礁の見込がないのでサルベージ船が救助に來るまで濟州、木浦、京城等附近の各陸上無線局で監視してゐる

救出の褚玉璞氏も 絕對大連に上げぬ

ヤット高松丸で明朝着連するが 水上署で嚴重警戒

昨年の戰ひに敗れ、劉珍年軍に幽閉さる〻こと三ケ月に及んだ元山東省督辦褚玉璞氏にも漸く更生のときが來た、六日夜、褚氏連れ出しに芝罘に向つた高松丸は既に芝罘に到着、目下珍軍と種々交涉中であるといふが、同志は既に約束の五十萬元を携帶して行つた事であるから、無論身柄は無事渡さるゝ筈で、遲くも八日夜芝罘發歸連の途に就くであらう、水上署では關東廳の方針通り褚氏大連上陸を拒止する手筈になつてゐるが九日早朝より高等係一同は嚴重警戒す

大商軍惜敗

滿鐵東軍スター倶樂部對大連商業野球戰は七日午後二時から旅順グラウンドに於て大商先攻で開始、投手戰を演出して遂に三A對二のスコアーを殘してスター辛勝した

醉拂つた主人を 搜す馬車うま

市內桃源臺林舍內馬車夫張洪友（五五）は七日午後八時半紀伊町で客を待つて居たが、あぶれた事から自棄酒を呷り馬車も何も放つた儘醉拂つて何處かへ行つて了ひ、馬は主人が何時迄待つても歸つて來ないのでブラ〳〵と主人を探して沙河口鎮金町電車停留場迄來た處を通行人が發見取押へ沙河口署に屆出たが、一方張は良い氣持で小崗子邊をブラついてゐたのを呼出され散々油を絞られて引下つた

夏のレヴュー【1】

街頭四題……（三）

並製の文化住宅

滿洲の夏の夜は思ひ切つて凉しい、殊にマッチ箱のやうな並製小文化住宅の二人ぐらしは。

×

風は家の中をふきつ通しである、サイダーをぬかせて二人ポツきりで樂しんでゐる圖はむしろ可愛いゝもの。

×

部屋をのぞくとちツぼけな本棚と安もの〻蓄音器が置かれてある、簡易な生活よ、風も、若き二人を妬んでやけに吹くではないか。

留紙幣で 剩錢詐欺

鮮人機關手が

朝鮮全羅南道生れ市內濱町漁船信德號機關手金德順（二）は八日午前二時逢坂町より仲間二名と共に市內若狹町第一タクシー自動車に乘り小崗子料理店朝鮮館迄行つて運轉手に向ひ露國留紙幣の五圓券を出して米國紙幣五弗なりと欺し金五圓の剩錢を取つて殘りはチップだと意氣揚々と逃げ出した、運轉手は後で欺されたと判り其旨附近派出所に屆出たので搜索中の處同日午前四時半沙河口西町百二十一番地に潛伏中を取押へられた

問題が苛酷と 白紙の答案

小樽の女學生

【小樽八日發電】當市私立綠ケ岡高女三年生六十名は去る五日の經濟學々科試驗に問題が苛酷であるとして白紙の答案を出し、受持教

頗る手の長い カフエー主人

原籍鹿兒島市東千石町五當時沙河口白金町七番地白鳩カフエー主柾木吉次郞（四）は本年二月ごろ市內常盤町方面に於いて赤塗り自轉車を盜み自宅の古自轉車にタイヤ其他を取付けて使用して居たこと、豫て給料も支拂はず解雇した陳桂馨（二）から八日沙河口署への密告で發覺し目下取調べられてゐるが尙柾木は本年六月十六日に夏家河子滿鐵海水浴場に於て幅二尺五寸長さ五尺位の鐵板を竊取し家作に使用して居り又聖德街太子堂裏官有地より五尺位のヒバの樹を三本を掘とつて堂々店飾りに植てあり諸處から小盜兒物を集めてカフエーの店頭を張つて居たこと判明餘罪取調中

論が叱責したことよりその後の授業を受けず四年生全部も之に同情してストライキに入り、父兄會、學校當局の盡力で八日より登校の運びとなつたが三年生はこの二月にも同樣の擧に出たことがあると

滿鐵市中OB 野球戰

滿鐵OB對市中側OBの野球試合は寶塚戰の日程變更により十一日午後四時より滿倶球場に擧行さる〻こと〻なつたが、滿鐵市中側とも對記者團戰に苦い經驗を味はつたこと〻て何れも相當秘策を廻らし更に必勝を期することゝて相當に面白い試合が見られるであらう

ビールと剩錢の 籠拔け詐欺

自動車運轉手風の男

七日午後十一時ごろ大連但馬町雜貨商陳希林かたへ年齡廿二、三歲黑詰襟の洋服に淺黃色のズボンを穿いた自動車運轉手風體の日本人男が來りビール二打六圓七十錢を註文し十圓紙幣だから三圓三十錢の剩錢を持つて來て呉れと店員に右ビールと剩錢とを持たせ山縣通り六八大連タクシー附近の裏迄行つた時金十圓を持つて來るから一寸待つて呉れと待たせ右ビールと剩錢とを受け取り逃走せんとしたので屆け出により目下大連署で犯人搜査中

間島附近の 虫害甚し

前途を憂惧さる

【間島發】間島各地の農作物に種々の害蟲が發生し殊に最も恐るべき夜盜蟲は例年より十日も早く發生し、晝夜蝕害を逞ふしてゐるが最近其の發生いよ〳〵甚だしく百草溝局子街頭道溝の各平野とも盛んに蝕害を蒙り龍井附近に於ても馬鞍山麓の興新洞一帶は被害最も甚だしく高粱、粟は既に全滅となり蒔き直しを要する旨東拓出張所に通知があつたので濱名總領事館囑託は一兩日中に現場視察を行ふ筈である、たほ夜盜蟲は曇天に移動活躍する習性を有してゐるので今日までの如く降雨と曇天が今後も繼續すれば出穗期に發生する二番生夜盜蟲が愈蝕害を逞しふすることゝなり

毆打暴行

大連沙河口元町東京館止宿無職永吉雅夫は七日午前一時二十分ごろ同僚の櫻井照彥、山本秀夫、三上三三郞ほか一名と岩代町三飲食店福屋清子かたに至り飲酒中、隣りに飲食してゐた丹後町三五活動常設館樂師鮮人朴士元に喧嘩を賣り所持のステツキで朴の後頭部を毆打し暴行を働いたので直ちに大連署に引致された

ろに至るべく長雨の爲め除草の仕來ぬ田畑の草蓬々たると相俟つて間島農作の前途は憂惧されてゐる

火夫の阿片密輸

密告により水上署司法係は七日の朝より活動を開始し折柄入港中早濟通丸より直隸省天津府生れ火夫馬濤（三七）同じく倶學義（四〇）を引致嚴重取調べたが、同人等は天津太沽の郝玉山（五三）なるものより阿片二貫目（時價千六百圓）を一個につき七元の手數料で寺兒溝居住の間福海（四二）なるものに渡してくれと依賴された事を自白したり該阿片を船中檢査の結果機關部トンネルより發見直に押收し犯人三名は餘罪ある見込で目下取調中

卵賣にシテやらる

七日午後一時市內霞町四番地特十六號十五井田鶚惠方にて支那人の卵賣りが來て十一個を三十錢で買つたが小錢がないので十圓札を出した處、剩錢を持つて來るからと六十個許り入つてある卵籠を置いて出て行つた儘何時迄經つても歸つて來ぬので始めて欺された事判り其旨沙河口署に屆出た

自生電瘉法講習

滯連中の大連廳立高女、大連商業の創立者であり大陸青年團の創始者である河合篤叙翁は八日午後七時半より櫻町七八滿洲牧場に於て第四回の河合式自生電瘉法講習會を開くこと〻なつた

圖太い鮮人

朝鮮生れ當時沙河口元町一二一金義煥（五〇）は本年四月に沙河口元町一一七吳服商楊友秀（三六）方より無効の約束手形を擔保にして吳服物その他代金六十四圓餘を買入れ其後言を左右にして支拂はず何れかに逃走したが被害者の告訴により手配中の處六日瓦房店に於いて取押へられた

◇……東支西部線興安嶺附近は旣に秋色を漂はし百花撩亂と咲き亂れてゐるが當地記者團は來る十三日ごろ出發一泊の豫定で同地高原地帶の探勝に赴く豫定であると【哈爾賓發】

◇……奉天における化粧品の消費高は昭和元年來劇增を示してゐるが殊に最近支那側の急激なモダン化により愈その數を增して來た、支那側上流社會では化粧品でも佛國製品を使用してゐるが大部分は凡て日本製品を消費してゐるので、化粧品輸出も將來日本の重要な貿易品となるであらうと觀られてゐる、なほ奉天における支那側の消費高は年額十萬圓以上に達すると云はれてゐる【奉天發】

◇……間島各地の支那巡警は此のほどより一齊に警士と改稱され同時に左胸部に番號入りの姓名票を吊ること〻なつたので、今後彼らの不正行爲は餘ほど減るだらうと一般の喝采を博してゐる【間島發】

寶塚對實滿野球戰

實滿一回戰	九日午後四時	滿倶球場
寶實一回戰	十日午後四時	實業球場
寶實二回戰	十二日午後四時	實業球場
寶滿二回戰	十三日午後四時	滿倶球場
決勝戰	十五、十六兩日	

主催　滿倶後援會　實業團後援會

後援　滿洲日報社

◎一時會員券　一圓、五十錢、二十錢

塔灣西英守臺水田主王大春廣告

民國十三年拙者が馮楮昌氏より讓受けたる遼寧省城塔灣西英守臺所在窪地五百零六畝六分は當時賣買登記手續を了し爾來拙者が完全に領有し水田を經營し今日に至りたるが最近右拙者土地を盜賣せんと運動しつゝある者あるを耳にしたるに就ては該地は全然拙者の所有地にして之を他人に讓渡若しくは出租の意思なく隨て之を他人に委囑したることなし依て中外人士が此等奸人に欺瞞せられざる樣注意の爲め茲に廣告す

民國十八年七月

瀋陽市大北邊門外新開河沿　王大春　謹告

正誤　昭和四年七月八日附本紙七日夕刊二面掲載浪華洋行第八回購買會第七次當籤十三號とあるは第八回第八次當籤の誤植に付訂正す

當春以來自己の肛門病治療の傍ら同病研究の爲め歸國中の處本月歸連致し今後は肛門病專門として診療に從事致候間不相變御愍情を蒙り度御挨拶迄如此御座候　敬具

昭和四年七月七日

内田鎭一

平安異香（43）

葉多默太郎作　中一彌畫

處女受難（二）

蒔繪師是信の憤怒は、足海三左衞門にとつて思ふ壺だつた。是信に無禮があれば無禮打。何の雜作もない事だ――さうすりや娘の幸は巢を離れた小鳥同然――。

「是信よ、打つて來い。鑿でも何でも掴めばよいのだ」

三左衞門が胸に呟きながら待つてゐる、目だけは是信から離さない。スワといへば讎を開きざまに拔討つつもり、鯉口に左の指がかゝつてゐる。

沈重な氣がじいつとこの場を抱き竦めた、それは重々しい瞬間だつた。

と、突然、ガクリとくづをれたのは是信だつた。烈風に向つて頑強に衝立つてゐた樹が、力を失つてポキツと折れた形――。

是信はぺたりと兩手をついてゐる。歯をキリ／＼と嚙んでゐるのだが、いふ言葉は至極穩かだつた

「度々の延引で恐れ入りますが、どうかこゝ四五日お待ちを願ひます。娘にもとくと申し聞かせまして、……」

「親方！」

叫んだのは嘉吉だつた。が是信の眼に制せられて、咽喉まで出かゝつた次の言葉をゴクリと呑みこまねばならなかつた。

それへ冷やかな一聲をくれた三左衞門、肩を揺つて大仰に笑つて

「では四五日待つてくれいと、かういふのだな。流石は是信だ、分りがよい、悧口だよ。さうなくてはならないところだ。ぢや娘御によく利害得失を說いて承知させておいてくれるんだな。五日といふと廿日かな。廿日に準備を整へて迎へに來ることにしやう。その時になつて否應は云はさねえぞ。刀にかけても貰つて行くから、その覺悟でゐてくれ、いゝな」

是信は頭を下げて、承諾の旨を示した、口を利くと怒氣を爆發しさうになるので、口はへの字に噛みしめてゐた。

「では暇だ」

「お靜かに」

師匠に代つて、嘉吉が挨拶をした。が、ひどく嗄れた異樣な聲になつてゐた。內心にふつ／＼と燻る憤りの火をどうすることも出來なかつたのだ。

それかあらぬか、三左衞門が敷居を跨いだと思はれた時、トンと床を蹴つて立つた嘉吉――その手に穴抉りの鑿だ。いきなり土間へ飛び下りようとした。が、それへ是信の手が伸びて帶を掴まうとしたのが滑つて足頸にかゝつた。

「……………」

嘉吉はクルリと振返つて師匠を睨んだ。師匠の是信にでもつつかゝりさうな眼だつた。

「嘉吉！――」

門へ聞えない程の低い聲が、是信の口から洩れた。言葉はたゞそれだけだつた。が、その二つの眼に、嘉吉はかつて見たことのないものを見た。瞼に含んだ涙だつた――。

「親方――すまねエ」

聲には出なかつたが、さういつた氣持が嘉吉の眼を熱くした。

その時門口に、三左衞門が馬に乘つた氣配がして、乾いた道をうつ馬の蹄の音がそれに續いて聞えた。

是信は二つ三つ目をしばたゝいてから、後へにぢつて柱へ凭りかゝり、毀れた人形のやうにガツクリとなつて眼を瞑つた。精も力も拔けきつた、といふ風だつた。が、その面に、苦悶の色が顔に去來するのを嘉吉は見た。そして、尤もだ――と思ふのだつた。

人に手をついた事のない親方が一度否だと云つたら、挺でも動かなかつた親方だ。それが手をついてあやまつた。口惜しいのが當然だ――。

口惜しがりながら、是信の顔色を窺つてゐると、間もなく、苦悶の色がその面から、掃かれたやうに消え去つて、觀念の出來た和かな相貌になつた。

と見ると、漆刷を引寄せて、刷毛をペタ／＼やりだした。

「親方」

辛棒がしきれなくなつて嘉吉がその手を押へた。

「勸修寺へあんな返事をして、一體どうするつもりなんだ。

映畫と演藝

トーキーの二つの問題【下】

次に第二の問題である。現在の日本映畫界にあつては邦畫洋畫共にその發聲映畫上映の範圍は非常に狹く、主なる大都會だけに限られてゐる。殊に完全なる發聲映畫上映裝置をするには非常な多額を要する。一例をとれば邦樂座はそのパラマウント、チエーンなるが故に、パラマウントとウエスターン、エレクトリックとの製作關係による契約に基いてウエスターン、エレクトリック、エクイプメントをとつたのであるが、此の機械が全ケース四十個と云ふ大きなもので、原價一萬九千弗輸入税その他を加へると實に六萬圓近くの金額になるのである、斯くの如き代物は日本の映畫常設館では全然イムポシブルに屬すると見ていゝのである。しかも今日のアメリカ一流の映畫會社は悉く此のウエスターン、エレクトリック、システムによつてトーキーをつくるが故に同じシステムによつて映寫機に於て最も完全に映寫される理窟なのである。

その他の機械にしても二、三萬圓は優にかゝるし、日本製のそれはその完全さに於て劣るとしたならば、小規模の常設館、殊に地方で今のところ殆んどトーキーに接する機會がない事になる。

こゝでパラマウントが計畫したのは、ロオド、ショウ（旅興行）用ウエスターン、エレクトリック機の購入である。これによつて彼等は數へる程しかない發聲映畫裝置上映館の爲めに、高額の有聲プリントをとりよせなければならない。その狹い範圍から少しでも逃れられるし、地方のファンはこゝに現在世界最高級の發聲映畫寫機によつて完全にトーキーを見、且つ聞かれる事が出來るのである。

こゝに此の二つの問題がどう變化するか疑問であるが、彼等の計畫通りに行く事を希望してやまない。

懸賞廣告圖案當選發表

満洲日報

聳立する子規の大風格に就け!!

若々のわれめわれめや山つゝじ

正岡子規

子規の藝術が百世不磨の創造的所産であることは言を俟たない。そして永久に我日本の誇りとして東洋的氣品と我民族的氣魄の凝結である。斷じてバタ臭い飜譯的付燒刄的のものでない。此全集あることが我家庭の誇りであると共に實に其家の氣品を象徴す。此偉大なる藝術の民族的に役割を遂げ得ることは天下萬衆の均しく認むる所。敢て我國の全家庭が此點に顧慮せんことを切望する。

日本民族百世の寶典を見よ

第一卷　俳句全集（第一卷）
第二卷　俳句全集（第二卷）
第三卷　俳句全集（第三卷）
第四卷　俳論及俳話（上卷）
第五卷　俳論及俳話（下卷）
第六卷　歌論歌話及評論
第七卷　和歌、新體詩、漢詩
第八卷　隨筆篇（上卷）
第九卷　隨筆篇（下卷）
第十卷　小說、紀行、小品
第十一卷　少年時代創作篇（上卷）
第十二卷　少年時代創作篇（下卷）
第十三卷　編著（上卷）
第十四卷　編著（下卷）
第十五卷　書簡（上卷）
第十六卷　書簡（中卷）
第十七卷　書簡（下卷）
第十八卷　日記及年譜（未發表作品を悉く收容）

子規全集

本全集なきは家門の恥辱

今日を將來する原動力　醫學博士　齋藤茂吉

子規全集によつて子規の全作品に親しむほど、今更ながら子規の偉大さに打たれる。どうしても三十六歲の若さで此世を去つた人とは思へない。……現在の私たちから見ても子規の生涯は偉大なる事業そのものであり、今日を招來した溌溂たる原動力であつた。

新らしき苗木　文學博士　笹川臨風

創造力に豐かなる、淸新の氣の橫溢せる、子規居士の偉大なるは、常に新しい苗木を瀰領土に植ゑつけるにあつた。

子規は我が僻意に報つ　平田禿木

十餘年前を追懷すると、どつしりした、それでゐて精悍の氣が眉宇の間に揚曳する居士の風丰が髣髴として眼前に往來する。……この全集を坐右において、自分は實に得難き激勵と慰めとを得てゐる。あの病軀を以て、何うしてこれだけの仕事が出來たらうかと自分は始終我が僻意に鞭つのである。その句に入り、歌に詠まれる世界が私達に親しみ深い

餘命いくばくかある夜短し
門しめに出て聞いて居る蛙かな
のりおくれた舟に汐まつ凉かな
夏嵐や吹き飛ばされて藻に落つ
夕風や白ばらの花皆動く

森深み山鳥なきてたまたまに人に逢ふさへ淋びしかりけり
○
薩摩下駄足にとりはき杖つきて萩の芽摘みし昔おもほゆ
○
青松の横はふ枝にふる雨に露の白玉ぬかぬ葉もなし

第一回配本（第八卷）
隨筆篇（菊判五百七十四頁）
目下配本中

全十八卷　内容見本進呈
締切七月廿日　一冊壹圓
東京市芝區愛宕下町　改造社　振替東京八四〇二番

百世を率ゐる此大藝術を見よ!!

—實物縮寫—

新内閣の施政方針
あす閣議で決定聲明
豫算緊縮は金解禁準備
濱口新首相の車中談

【鎌倉七日發電】濱口首相は七日午前九時二十分新橋驛發列車で鎌倉の別莊へ赴いたが車中左の如く語つた

金解禁問題は目下財界喫緊の重要問題である、自分は我國現在の財界は速かに立直しをやらねば國家に容易ならぬ問題が起る虞ありと心配してゐるもので、故に在野黨時代から度々天下に聲明したのであるが、財界立直し策としては金解禁斷行の外はない、然し金解禁を斷行せんとするには相當の準備が必要であるから今度の豫算編成方針もその積りで決定した譯である、而して金解禁を今直實行するといふことは考へて居ない、前内閣とて準備をして居たかも知れぬが目に見えた物は何もないやうである

▲豫算問題　既に發表した通り一大緊縮方針を以て臨むとともに決定した、政府の施政方針は九日の閣議で決定聲明するから現内閣の政策も判然する譯である

解散斷行は未だ何も考へぬ

政、新合同は政黨内閣のため喜ぶべき現象で政界もはつきりなつて來た、反對黨が大きくなることになるが政界のために喜んでゐる、この際臨時議會を召集して解散を斷行し、信を天下に問ふべしとの議論もあるが、目下のところ何も考へて居ない、理論的に見ても人に依り夫々の意見がある、君等は何と考へてゐるか？新聞では矢張り解散論が多いやうだね

▲對貴院策　善政を行へば別に心配は要らぬと思ふ、善政といへば寺内内閣當時のやうに誤解されるが、所謂眞の善き政治を行ふことである

▲對支外交方針　幣原外相は田中前外相のやつたことを充分檢討し、その結果につき私に相談されると思ふが具體的方針については總て其後の事である

▲海軍々縮問題　に關しては目下何等考慮を拂つて居ない

滿洲事件の發表可否は未定

在野黨當時之が眞相の發表を政府に迫つたが、前内閣が自ら重大事件なりと稱し調査中なりといつてゐたもので、それが何の程度の物か宇垣陸相も判つてゐないから現在のところ之を發表するや否や判らない

▲内田顧問官　田中前首相が個人として引留て見たいといつてゐたが昨日田中前首相より留任は至難の模樣でよろしく考慮を乞ふといつて來たから之については目下考慮中である

朝鮮總督の文官制は考慮中

その時機は判らぬが山梨總督の辭表は出てゐない、臺灣總督は上京したいといつて來たので承認したが朝鮮總督は此際氣分一新のため文官にしたいとの説もあるが考慮中である

▲與黨内紛問題　何しろ多士濟々であり椅子の數は尠いので滿足させることは出來ないが之は愛黨心から我慢して呉れるであらうから心配はないと思ふ

▲其他の問題　去る五日參内したのは地方長官異動のためでなく組閣以來の經過を内奏したものである、組閣の仕事も一段落せば早く伊勢桃山に參拜したいと思つてゐる

古別莊に寛いだ ライオン新首相
鼻膨らせて上々機嫌

【鎌倉特電七日發】組閣以來の疲勞を癒すべく濱口ライオン首相は七日午前十時半鎌倉驛着、差廻しの自動車には目も呉れず「徒歩で十分だ」といひながらスタコラ歩き出す、首相として初めての別莊入に行人が珍らし氣に立とまつて振り返る、ライオン首相の別莊は由井ケ濱の古ぼけた二階建、玄關と共に五室位、庭も狹い、トマト胡瓜が書生の手で片隅に作られてある護衞に送り込まれて、ライオン首相は玄關が締め切つてあるので傍の柴折戸から庭に廻り、六疊の部屋からサツサと二階に上り洋服を脱ぎ捨て、褌一つとなり暫く涼をとつてから時代物らしい緊紹の羽織袴をはいて庭に降り立つて來た、それから籐椅子にかけて當日の新聞を擴げながら曰く

田中前首相に奬められて健康保持のためやつて來た、之からは日曜毎にやつて來やうと思ふ、その第一歩にやつて來た、趣味は何も無くたゞ山や海に散歩に行く位だ、小説は讀まぬが賀川君の「死線を越えて」鶴見君の「英雄待望論」を讀んだ、マルクス全集も讀む、講談は讀まぬ、之から晝寢をやる積りだ、ライオンといふが別に他の人々と變つたことは無い

といへば、取卷ドツと笑ひ、ライオンもフフンと鼻を膨らます

戀て雨が一しきり降る「雨が降つて困るだらうマア茶でも飲んでくれ」と柄にもないお世辭をいつて鼻を膨らます、取卷連また笑つたらしい、當首相は八日午前十一時四十四分歸京する筈

貴族院尚友會役員選擧

【東京八日發電】貴族院研究會の選擧母體尚友會は八日左の如く役員を選擧した

▲評議員（十八名）　伯爵松木宗隆、柳澤保惠、林博太郎、子爵松平直平、青木信光、牧野忠篤、大河内正敏、伊集院兼知、井上匡四郎、前田利定、豐岡圭資、立花種忠、伊東祐弘、八條隆正、曾我祐邦、渡邊千冬、東園基光、西尾忠方

▲幹事　伯爵黒木三次、酒井忠正、子爵[illegible]篤麿、池田政時、裏松友光

安達内相參宮

【東京八日發電】安達内相は午後九時半東京驛發にて西下、伊勢神宮に親任報告參拜の後、畝傍、桃山兩山陵をも巡拜の上十一日歸京の筈である

政友代議士會

【東京八日發電】八日政友會有志代議士會は前内閣に對し一條公、大井、井上兩男、江木翼氏が滿洲某事件の發表を國家の威信の爲めと稱して要求しながら民政黨内閣となるや何等の措置に出でざるは彼等が政黨の傀儡となりたるものであるから其の責任は輕視すること能はず として宮川、青木、津雲、藤井四代議士をして九日一條公を訪ひ詰問させるに決定した

畑軍司令官
二十四日着任

新任畑關東軍司令官は來る廿四日大連入港のほんこん丸で來任することに決定した

滿鐵の新規事業は總て國策的計畫
政府が中止することはあるまい
松岡滿鐵副總裁談

松岡滿鐵副總裁は八日午後、記者團との定例會見に於いて新内閣の緊縮方針並に拓務省の滿鐵監督權と滿鐵の事業計畫の關係其他昭和製鋼所の事業内容等に就き左の如く語つた

新内閣の一般的緊縮方針に依つて滿鐵の新規事業が中止されるやうな事は有り得ないと自分は信ずる。山本總裁が計畫された各種の事業は總て吾が國策に立脚せる

重要事業　ばかりで近く總裁の更迭があり何人が次の總裁の椅子に就かれやうとも此の國策的事業計畫の中止又は根本的變更が爲されやうとは考へられぬ、即ち日本人の滿蒙發展を期する上に於いて何れも缺くべからざる重大事業であるから自分は此點に就いて些の疑惧の念を抱いてゐない、滿鐵に對する拓務省の監督關係は官側をよく未だ見てゐないので分らぬが數日前新聞に傳へられた投資、株の

引受に　對する拓務省の監督の如きは別に從來とは異つた關係が發生した譯ではない私としては唯從來餘り手續きが繁雜に過ぎたと思ふ、此點の官制が何うあらうと運用により可及的手數の省けるやうに希望してゐる、昭和製鋼所の事業内容は未だ詳細に發表すべき時期でないが資本金一億圓で全部滿鐵が引受け第一回拂込二千五百萬圓の豫定である、工事は昭和六年度に完了の見込で銑鐵其他年產五十萬噸の計畫であるが差當り四十八萬噸位を生產することにならう、最初より

百萬噸　の計畫であるが先づ第一期は上記位に止め第二期は五年程後に着手されることゝなるべく本事業計畫に就き最近妙な説があるが私は配當年一割は優に續け得ると確信してゐる、尚ほ鶴見埠頭、並に倉庫事業計畫が放棄されたかに傳へられてゐるが全然虛説であつて目下豫定の如く着々進行を見つゝあり住宅會社も唯

手續上　重大な滿鐵の財產の處分と云ふ形式を採るため手間取つてゐるに過ぎないのであつて内閣が變らうと何等變更を見るべき筋合のものではない

入蒙を拒絶され醫大診療團立往生
公共團體に對する支那側の措置
各方面から注目さる

【奉天特電八日發】滿洲醫大診療團は例年の如く林榮氏外十九名が出發し、三日洮南に到着諸般の準備を整へ支那官憲に護衞兵の派遣方を依頼したるも、官憲は省政府の命令なりとて護衞兵の派遣及び入蒙を拒絶したので目下一行は洮南に立往生の有樣で、滿鐵や領事館は一行の入蒙許可方を支那側に交渉中であるが、支那側が今回の如く公共事業の拒絶を爲したのは初めてで各方面から注目されてゐる

蔣張兩雄の會見

XYZ生

這次、東北邊防總司令たる張學良氏が蔣介石氏の招電に應じて赴平したことは東北四省の將來にとつて客臘二十九日突如として斷行された易幟以上に劃時代的な重要性を帶べるものと見るべき理由があるとともに學良氏自身にとつても亦その政治的生命の上に一大轉機を劃するものと見ることが出來る

◇

[illegible]良氏は離奉に際し單に多年敬愛せる蔣介石氏の謦咳に接せんためとのみ稱して一部老臣幕僚の諫止を斷乎として之を斥け、世の褒貶を餘所に獨り何事か期するものあるかの如く倉皇として招電に馳せ參じた、北平到着後蔣主席との間に交される談話の如何なるものであらうかは傳へらるゝ諸説紛々として總てこれ揣摩臆測の範圍を出でないものではあるが、現時東北の情勢から推して對露、對日の外交問題を首め對内的にも亦所謂國防、軍縮等の軍事諸案件より三民主義的訓政上の諸重要問題に及ぶ廣汎なるものであらうことは想像に難くない

◇

しかし、これ等の對内外諸案以外最も世人の注目をひくは蔣氏が當面せる西北問題を中心としての話題である、馮玉祥氏の下野外遊は既に時間の問題とさるゝまでに確定視され閻氏の「和平統一」に對する熱情も亦遺憾なく吐露されて表面最早西北問題は完全に解決されたかの觀は呈するも馮氏は晋祠に靜養を名として動かず、閻氏は病と稱して入院し、事態は表面の圓滑なるに反し――蔣氏北上の豫期に反して――なほ沈鬱な空氣は山西の空に晴れ間を見せず奥齒に物のはさまりをのこしてゐる、そこに蔣氏の耐へ難き苦痛は存在し蔣氏が單に閻氏との會見のみによつて歸燕することをなさず、學良氏を招くに至つた主要眼目とその心理を窺知し得るものがある

◇

即ち蔣氏は蔣氏を主班とする國民政府の和平統一の確信をもつ上に將又西北問題解決の上に閻氏の保證以外更に北邊防總司令としての張學良の保證をも必要とするの心理狀態におかれつゝあるのでは無からうか、恐らく蔣氏が張學良氏を招いて第一に質さんとするものは東北四省の外交訓政其他の問題に關してではなく西北問題に對する東北四省の向背を總司令としての張氏の口から聞かんことであらう、したがつて張學良氏の蔣主席に對する東北代表としての回答こそいろ／＼な意味に於て蔣氏に最後的決心を與ふるものであるとともに他面張學良氏對蔣介石氏及び東北四省對國民政府の最後的決定を與ふるものと見ねばならぬ、兩雄の會見果して何事を語るであらうか、今後の東北の局面と張學良氏の政治的生命はこの會見によつて總て決定的に因緣づけられるであらう。

最近の滿蒙を紹介する優秀印畫の懸賞募集開始

一、募集印畫　（イ）カビネ以上調色せぬものにて薄き臺紙に貼附の事（ロ）臺紙の表面には題名又は撮影箇所名、撮影風物を紹介する簡單な説明を附し裏面には住所氏名明記の事

一、締切宛先　昭和四年七月二十日締切、印畫の宛先は「大連滿洲日報社懸賞寫眞募集係」とし郵券送付のものにして不採用の分に限り印畫を返戻す

一、審　査　本社編輯局審査委員に於て入選決定

一、賞　金　一等貳人金參拾圓宛　二等七人金拾五圓宛　三等貳拾人金五圓宛　合計貳百六拾五圓

外選外佳作五十名に薄謝を呈し當選發表二週間後に賞金を送附す

滿洲日報社

破壞された線路の地域を回收せよ
榊原農場問題で奉天當局に嚴命
南京政府の對日瀨踏か

【南京特電八日發】南京政府は榊原農場事件に關し最近遼寧省政府に宛日本官憲の不當なる處置に對し嚴重抗議し破壞されたる線路上に設けられた日本側の標識を即時撤去し該地域の回收をなすべしと電命したが南京政府が斯かる強硬的態度を示したのは同事件を以て新たに成立せる濱口内閣の對滿政策の瀨踏みに利用し且つ從來東四省外交權の中央統一に對し逡巡せる張學良氏の決心を促す材料に用ひたものとして注目に値すると

山本總裁
拓相と懇談

【東京八日發電】山本滿鐵總裁は八日午後一時半松田拓相を訪ひ昭和製鋼の件につき懇談した

關東廳三署長の勇退は實現せん
官制改正されずとも

關東廳官制改正の如何に拘らず貔子窩峰岸支署長、安東尾崎署長、四平街森脇署長は勇退の意嚮で峰岸署長は間島警察署長に榮轉の説あり、三氏共に既に辭表を提出したと傳へられるも未提出らしい

石油協定會議
歐洲で開かれん

【ニユーヨーク六日發電】アメリカ財界有力者多數が商事會議參列のため渡歐するのを機會に歐洲にて數個の石油問題に關する協議會が行はれることゝなつた、協議事項は輸出價格改正、世界的生產制限等である

駐日米國大使
ワーク氏就任せん

【ワシントン七日發電】米國大統領フーヴァー氏は共和黨全國委員會長ワーク氏に對しアメリカ大使として日本に赴任せんことを再び希望した由である、ワーク氏はまだ決意はしてゐないが受諾する模樣である、なほ他方に於てジヨン、ダブユー、ギカレツト氏が有力だとの觀測もある

金解禁準備で諸株大暴落
慘澹たる市況を現出

【東京八日發電】政府では一大緊縮を標榜して愈本式に金解禁の準備を進める事となつたので週末既に動搖を感してゐた東株市場は八日に至つて形勢險惡となり買方の投物續出と賣派の追擊で一齊大崩落を演じ、新東の短期は百十三圓七十錢の新安値を出現し震災以來の記錄を作り、長期諸株は鐘紡先づ六圓六十錢方の暴落、次いで淺野、日魯、富士製紙、日本石油等二、三圓乃至五圓方の慘落となり殆ど軒並の低落振で慘澹たる市況を現出した

佛内閣危機を脱す

【パリー七日發電】フランス内閣は對米戰債支拂批准につき一時其存亡を危惧されたが國務總理ポアンカレー氏は右批准を議會の協贊を得ること困難なるに鑑み政府自身の決定として布告する方針を立てどうやら形勢緩和を得た模樣である

張氏赴平中の代理者決る

【奉天特電八日發】張學良氏留守中は軍令廳長榮臻及び張景惠の諸氏が代理を努めることゝなつた

本溪湖神社移轉訴訟は無意義だ
反對派の言分は事實と相違
藤田學務課長語る

本溪湖神社の移轉問題に關し同地地方委員長は八日關東廳に藤田學務課長を訪問し贊成派側の意向を屢說明するところがあつたが各地方委員長との會見後藤田學務課長は左の如く語つた

別に　今度地方委員長の來たのは斡旋の勞を求める爲めでなく從來の行きかゝりと問題の眞相を說明する爲めであつた、それによると本溪湖在住五百九十四戶の内反對者は十數戶に過ぎず中立が二十四戶といふので寄附金額も豫定以上に達して五千數百圓に上つたといふのである、これでみれば反對者の稱してゐる反對者八割といふのはどうも事實と相違するものゝ如くである、當局としては既に決定してゐるもので今更これをどうすることもない、反對派からは奉天總領事に向け

神社　を共有物として訴訟を提起してゐるが元來神社は共有物ではなくて營造物であることは事實であり從つてこの訴訟は無意義のものである、然し問題は國民思想に關するところ大なるものがあるから双方諒解して解決を圖つて貰ひたいと希つてゐる次第である

賠償問題
本會議期日
八月上旬に決定

【パリー七日發電】賠償問題本會議は英、佛兩國間に折衝の結果來る八月六日か八日より多分ロンドンにて開催される模樣となつた

東京瓦斯會社
一億圓增資

【東京八日發電】東京市會の瓦斯料金値下げ要求を拒絕し今なほ市會との間に悶着を起してゐる東京瓦斯株式會社は八日重役會で去る四月の株主總會の決議に基き市會の態度如何に拘泥せず一億圓倍額增資を決行することに滿場一致決議した

人事

▲遠藤友吉氏（大連港水先案内）八日出帆はるぴん丸にて内地へ
▲土屋政三氏（小野田セメント支配人）同上
▲大山文雄氏（關東軍法務部長）家族迎のため同上
▲竹内輝次氏（海軍水路大佐）同上
▲莊司博氏（北海道大學教官）北大農學部學生十八名を引率し朝鮮經由滿洲各地視察中のところ同上
▲田中千吉氏（大連民政署長）八日午前九時事務打合の爲關東廳訪問即日歸連
▲龍田道德氏（開原和登商行主）九時半來連ヤマトホテルへ投宿
▲水上多喜雄氏（哈爾賓松浦洋行主）支店設置の用務を帶び八日朝來連同上
▲森重千夫氏（拓務事務官）轉任の挨拶に八日大連市中歷訪

安樂椅子

政治を盆栽いぢりの●●やうに心得てゐる人に岡崎邦輔老がある▲此人、往年原敬氏の歿後述懷して曰く「大谷光瑞師のやうな人を黨首にして思ひ切つた政治をやらせて見たいものだ」▲此の話を思ひ出して星ケ浦滯在中の大谷氏にソレとなく聞いて見ると「今の政黨政治ではダメですね、假に私がなつたとすると政費を十億以下に切り詰めて了ひます、そして官省も五つ位で澤山だと思ふ」▲「民政黨の緊縮も懸け聲は好いが前議會であまり贊成しなかつた拓務省あたりを首相の兼任ですれば未だ宜いのに一々大臣を列べるやうではネ」

滿日地方版

奉天

州外初等教員の對抗競技會擧行
州內外對抗競技の豫選を兼ね

州外初等教員の對抗競技を兼ね州內外對抗競技豫選大會は七日午前八時から教事グラウンドに於て開催された、各沿線からの出場選手二百餘名に達し第一區は瓦房店より遼陽、第二區は撫順安東第三區は奉天、鐵嶺、本溪湖第四區は四平街以北の聯合軍陸上競技は盛況裡に終了した、中食後滿寮コートに於てテニスの試合を擧行したが、陸上優勝は第四區で

合計　七點　九點　一九點　二三點

日支人大亂鬪
七圓半が原因

六日午後零時十分といふ白晝宮島町において僅七圓五十錢の貸借關係から日支人入り亂れての大喧嘩があつた、市內橘立町一四雜貨商三義成(三五)は豫て紅梅町入勝野方居住古衣商店員中村某(假名)が五年橘立町十五番地に古衣…七圓五十錢を貸してゐたに至るも返還する模様なく…つてゐた處、偶中村が前町を自轉車に乘つて通行中成が認め車を止めて催促し葉の不通から遂に大喧嘩となつたものである、之がため係官現場に急行し之を鎭撫し中毎月二圓宛を支拂ふことを…云ひ含めて歸らしたが、中村は以前寶石の密輸から懲役六ケ月に處せられた强たかものであると

弘利洋行の寄贈
市內浪速通弘利洋行では今回在奉記者團野球部に對しユニホームを寄贈した

人事
▲中山貞夫代議士　六日蘇家屯乘替南下
▲宮崎關東軍々醫部長　六日過奉歸旅
▲鈴木第十六師團軍醫部長　六日過奉鐵嶺へ
▲李吉長鐵路局長　六日夜過奉瓦房店へ
▲藤田關東軍經理部長　六日夜四平街より過奉歸旅
▲ア、デ、プロスペロ氏(駐日伊太利領事)七日朝安奉線にて來奉同日北行西比利亞線經由歸國へ
▲ルーマニア公使夫妻　八日安奉線にて來奉十日平奉線にて北平へ

遼陽

佐川巡査着任
當地警察署巡査小沼氏轉任後久しく缺員中の處其後任として哈爾賓署より佐川健二郎氏が三日着任した

鞍中野外演習
鞍山中學生四、五年生は軍事教官古谷大尉に引率され野外演習の途に上つたが日程は左の通りである
六日午前十時遼陽着獨立守備隊の官舍に入り宿營準備、夜は工兵隊見學▲七日朝工兵隊作業場及滿紡附近に於て小隊對抗演習終つて步兵聯隊見學▲八日朝步兵聯隊兵營附近に於て小隊對抗攻防演習、午後小隊對抗陣內戰夜小隊對抗前哨及夜襲▲九日宿營所整理歸鞍

參事會員辭任
前滿鐵事務所長古澤幸吉氏は來る十日頃離哈內地へ引きあげることになつたので五日支那側市會に對し市參事會員の職を辭任する旨正式に通告した、後任には八木總領事の推薦により商工會議所會頭加藤明氏が任命されるだらうと

商議會頭互選
當地商工會議所では來る九日新議員の第一回會議を開き會頭、副會頭の互選を行ふことに決した

…カルニロフ、ゴウエルヒンの三小女がある目下餘罪取調中である

滿洲里

庭球俱樂部の夏期大會
滿洲里青年有志を以て組織せらるゝ庭球俱樂部に於ては、七日三道街なる同俱樂部コートに於て、會員の夏期大會を開催し盛會であつた

兒童慰安活動
滿鐵社會課主催

滿鐵社會課主催の第卅二回沿線兒童慰安活動寫眞は十六日午後二時から小學校講堂に於て開催、會費は例に依り大人十錢兒童五錢、プログラムは
海事、我は海の子一卷▲漫畫、インキ壺からスケート場一卷▲衞生、蠅とその生活一卷▲實寫室戶岬一卷▲喜劇、お坊ちやん二卷▲影繪、四十人の盜賊三卷

公主嶺

森課長北鮮視察
當地滿鐵事務所森運輸課員は七日發約一ケ月の豫定で浦鹽から北鮮地方の一般運輸狀況視察旅行に出向

…國際の鈴々木佐七氏に決定した

土筆吟社句會
公主嶺騎兵聯隊一等軍醫山本氏は今回軍醫學校に近く入校離公することになつたので當地土筆吟社の會員は五日午後七時滿鐵俱樂部の樓上に氏の送別句會を開催し盛會を極めた

撫順

民會理事後任
辭任した藤井民會理事の後任は五日の評議員會議の結果既報の如く…

今井氏の講演
地方事務所社會課主催今井三郎氏の講演會は七日午後七時半滿俱樓上に開催(宗敎改革の要望)と題し雄辯を振ひ聽講者に感動を與へた

炭都から海山へ解放される兒等
暑休に入ると同時に各學校は海へ山へ

石炭臭ひ撫順の小中女學校生徒達が白波岩に碎くる海へ、翠綠滴る山へと解放される暑中休暇が愈々來た、撫中と高女はこの十一日から八月二十日迄四十日間で中學校は敎論引率のもとに十一日から十七日まで夏家河子へキャンプ生活をなすことと決定、各小學校の夏休みはこの二十日から八月二十日迄の一ケ月間千金、永安、新屯各校とも八月三日から十日迄海濱聚落、七月三十一日から八月十四日まで溫泉聚落、また一方七月二十一日から同三十日迄連山關に山間聚落をなすべく各希望に應じたプランも決定、待たれた夏休みを最も有意義にすごさんとしてゐる

兇器を持つ强盜撫順全區を橫行
七日一日に三ツの被害

瓦房店

幼稚園七夕祭
瓦房店幼稚園にては六日午前十時より例年の通り七夕祭を施行したり最初に杵淵校長の挨拶ありて直に留區長の講演ある筈

機關區見學
瓦房店家庭研究會員一行が十日午前九時より當地機關區構內を見學する事となり機關車の構造乘務運銘につき吉…

鐵嶺

鐵嶺保線區管內工費百五十萬圓
大小の工事多く係員忙殺さる

鐵嶺保線區管內に於ける今年の工事は數年來に無い大工事が多く總工費實に百五十萬圓を突破する有樣であるが、その中開原驛の新築が最も大きく他にも各種の工事多く磯谷區長以下忙殺されてゐる、最近入札決定せる大工事は開原驛…內地各方面に出張すると

德田兵器部長動靜
德田關東軍兵器部長は七日午後二時十八分着列車にて來開し憲兵分隊にて兵器檢査を行ひ同夜一泊、八日開原守備隊の兵器檢査を行ひたる後同日午後急行列車にて四平街に向け出發した

鐵嶺開原對抗試合…十三中　鐵嶺滿吉　開原伊藤　十四中　開原千々和、橋本、大…十五中　鐵嶺橋本　人成績は左の如し

鞍山

盆栽持寄會
鞍山園藝同好會では既報の如く數…

實業協會堂落成式
鞍山實業協會堂は敷島町一丁目建築中の處愈々竣工したので、十日午後五時より同堂に於て地方事務所、製鐵所、警察署、小中學校長、驛長、局長、守備隊長、新聞記者其他有志四十餘名を招待し大なる落成式を擧行すると

加藤金組委員赴旅
鞍山金融組合設立委員は關東廳より十三日午前十時出頭せよとの命に接したので、同委員會は六日午後七時より敷島町實業協會堂に於て協議會を開き入選した結果、加藤政人氏に決定し散會した

やまき吳服店賣出
鞍山敷島町やまき吳服店の夏物掃大賣出しは五日より十日まで日間開催されたが毎日多數の來客あり頗る盛況を呈して居る

…島町實業協會堂に於て六、七の日花卉、盆栽、蘭、萬年青等の寄展覽會を開催したが秘藏品の品多數にして兩日共盛況であつた…遊戲大きなお日樣、唱歌流れ星外數種を演じ多數父兄の參觀もあり頗る盛會であつた

大連將棋聯盟特選

滿日五人拔戰
(永井君二回勝二回目)

(七ノ五)手　平先番初段▲藤田德藏　初段△永井喜太郎

戰の跡
三段　宮本金三

長春

幽靈の出現は有り得るもの
幽靈の家に閉籠つて
靈魂不滅を研究する坊さん

【長春】靈魂不滅の學說を立證する爲めに「幽靈の出る家」に自ら求めて居住してゐる青年がある

◇

長春露月町四十三番地の滿鐵集合社宅の一軒に住んでゐた當時滿鐵社員(ホテル勤務)永本某は妻と二人暮しであつたが家庭は至つて圓滿で何不足もないらしかつたが昨年六月二十一日友人を招待しやうとして妻は炊事場で饗の料理にとりかゝり夫は友人を迎へに出掛けた、夫永本が三十分程して歸つて來た所炊事場で料理をしてゐる筈の愛妻はどうした原因かは解らぬが料理をしかけた鍋をそのまゝにして奧の四疊の室の柱にしごきを掛けて縊死してゐた、何が彼女を死に至らしめたか、單調な生活の淋しさに堪へずしてか、それとも結婚前に夫には秘して大きな罪惡があつたのか、それにしても死の三十分前にはいそ〳〵と立ち働らいてゐた彼女の死は…

夫永本にはどうしても…つた、全く謎の死であ…ろな葬儀も無事に濟ま…職を去つて內地に引上…宅係りは他の社員にこ…てがつた所不思議にも…移つてからは家人が夜…れて安眠が出來ない…十一日の命日には明か…出て來人を脅かすと云…を替へて見ても同樣な…繰返され遂には誰もえ…くなり長く空家となつ…宅係りも持て餘してゐ…

◇

この事をきゝ込んだ日滿…の青年從職吉澤辨行氏は…說を立證する好機だと…方事務所に申込んで五…引籠つて居住してゐる、…ある物…から離れない…てゐる、この若き學徒は…

滿洲繪筆巡禮
大野斯文

一八八
卒塔婆小町の「大石橋」(大石橋)

哈爾賓

露人娘を賣飛す誘拐常習犯捕る
金品を與へて籠絡し
天津上海方面へ密送

當地で若い露西亞娘を誘拐してはり合になり高價な着物や指輪など天津、上海などの魔窟に賣り飛ばしうまい汁を吸つてゐた恐ろしい…を買ひ與へ巧に籠絡し上海へ行けば一ケ月百留や二百留稼ぐの…

附近
麵類
甘言
手蔓

鐵嶺開原對抗弓道大會
開原

長春

愈雨季に入つて傳染病患者續出
各家庭に注意書配付

調査
差支

安東

大和校の兒童が銀行會社に通勤
手島校長の新計畫

多獅島清遊會

貔子窩

慈雨に惠まれ農作物蘇へる

コソ泥捕る

旅順

黄金臺のキャンプ生活は許可されず

輪組購買傳票使用規程

海鼠、鮑、赤貝夏期採取禁斷

自動車と自轉車の衝突
運轉手は無免許

…は五日午後三時頃市內伊…三十二番先路上に於て同番…車を滅茶々々に破壞し撤夫…要する負傷を被らせたが、…轉してゐたものと判明引續…取調中である

有田ドラッグ商會本店全景　大阪內本町

穀物業者の福音

穀物自働計量機

原料、仕上りの歩止りを知る　勞力と繁雜さを省く

【奉天發】穀物加工業者は從來原料品と仕上り品との歩止りを知る爲め多大の勞力と繁雜とを負擔して居た、特に大量を急速加工の場合の如きは適確なる歩止りを縋むることなく

大體 の見當によりて處理するの止むを得ざる狀態にあつた其爲め種々なる不利を製造業者に蒙つて居た、特に精米工業に於て此憾みが多かつたが今回二十年に近き斯界の經驗者である全滿米穀同業組合萩原檢査場長が數年前より苦心の結果、理想的機械を發明し實物を完成し目下特許出願中であるが本機は全部眞鍮板製にて重量五貫目前後高さ二尺五寸幅一尺二寸厚さ四寸弱の龜甲形のものであつて本機を原料投入口と精品仕上り口に裝置すれば其の表示する指針の

移動 により原料と製品との歩止りを立所に算出し得るのである精米、精粟工場及穀物精選工場等は本機の發明により多大の便宜を得ることゝなる

數年前から着手　製圖する事七回

發明者萩原氏語る

發明者萩原氏は語る

この工風は數年前から心掛けて製圖すること七回模型を作ること五回、今度漸く確信を得ましたので先日來實用機を作製して居りましたが

御覽 の通り出來上りました物理的考案としては「平均した重量を持つ物體（穀物の如き）を一定の口徑より一定の距離を落下せしむることによつて起る抵抗は常に同一である」と信じますので其抵抗を動力として齒輪の運動を起さしめ計算を表示せしむることゝしたのであります構造については目下特許出願中でありますから發表致し兼ねますが運動の平衡を保たしむるため相當の苦心を用ひてあること丈は御認め願ます、只今迄の

試驗 によりますと白米で〇、七即ち千分の七の公差は免れません、更に工風して千分の二位迄確實性を進め度いと思つて居ります、千分の七と云へば相當大きなものでありますが、米にしてみると千石の七石でありますから是を現在營業者の行ふて居る大凡の見當による採算に比較すると兎もあれ確實性は相當進められたものと云ふことが出來ます、尚從來氣體（瓦斯）液體（水道油）の自働計量機には相當進歩したものもありますが本機は夫れ等とは全く異つた根底より立案したものであります今後更に研究致しまして確實性が千分の五迄進んだら希望者に作つて頒つつもりで居ります、價は今の處適確に

算出 して居りませぬが材料を相當厚い眞鍮板にしましたのと作業の精巧を期する爲め相當手間が掛りますから存外高くつくであらうと思ひますが大體一個七十圓見當で出來ると思つて居ります（寫眞は自働計量機）

山東苦力減少

【哈爾賓】現在既に農作期を終つたので直魯方面から來る移住民もまた漸次減少し六月中東支南部線で輸送した數は男女子供とも合計四百三十八名で五月に比較して約一千名の減少を示してゐる

撫順全坑の選炭會議

【撫順】過般一ケ月間全坑に亘る選炭デーの成績を基準として將來の炭質改善、選炭能率增進を計るべく全礦の選炭會議が十二日炭礦中央事務所會議室に於て炭礦側各關係者全部滿鐵本社販賣課員列席の上開會される、當日は過般の選炭デーの成績は勿論各方面の選炭に關する研究事項も發表討議される筈で理想的炭質改善策が樹立されるものと各方面の期待は非常なものである

支那巡警急派

【哈爾賓】東支西部線イリクテの札免公司では目下支那側と山稅問題のことで紛爭を釀してゐるが當地支那警察當局は萬一を慮り巡警二十五名を五日同地へ急派して警戒することになつた

ゴム底靴の排斥運動

支那紙惡宣傳

【哈爾賓】日本製ゴム底支那靴は値段が安いのと耐久力があるので當地市場でも毎年約三百萬足內外の需要があるが支那側靴製造業者はこれを嫉視しこれまでいろ〳〵とこれが排貨運動を試み最近に至つては遂に市當局を動かし日本製ゴム靴の使用禁止令を發布せしめるなど極力該品の市場進入阻止に努めてゐたが今回また〳〵新聞紙を利用し日本製ゴム靴輸入のため當地靴製造職工約一千名が失業して憂ふべき現象を呈してゐると惡宣傳を行つてゐる

國學院快勝す

對奉滿野球戰

【奉天】國學院大學對奉天滿倶の野球戰は七日午後三時から新公園グラウンドに於て擧行されたが滿倶は緊張味を缺き失策多く遂に十對四にて滿倶慘敗した閉戰午後六時過ぎ

寗木公司讓渡

【哈爾賓】當地植田一夫氏の經營して來た寗安木材公司は今回都合により大連の恩田熊壽郎氏の手に移ることゝなり兩三日中には讓り渡し契約を締結する運びになるだらうと、尚新經營主に移つた同公司は牡丹江木材公司と改稱し當地買賣街湖月前に事務所を設け本秋より大々的に事業を始める由で又植田氏は別に合資會社植田洋行を組織し器械、金物及び工業用諸材料の販賣を行ふと

月曜休日全廢

【哈爾賓】東支鐵道では從來夏期のあいだ土曜日又は日曜日が祭日に當つた場合は月曜日をサンマーデーとして全休することにしてゐたが本年は今日に至るも未だ實行されてゐない、聞くところによると右は支那側の反對によるもので本年のみならず將來とも右習慣は全廢されるだらうと

哈府で見本展示會開催

【哈爾賓】哈爾賓商品陳列館が近くハバロフスクに分館を設置して對露貿易を促進すべしとの說に對し引頭同館庶務主任の言によれば右計畫は別に新らしいものでなく兩三年前から商工省へ提案されてゐるが豫算その他國際的關係で今日に至るも尚實現されるに至らないしかしこの計畫は早晚實行される可能性を有してゐることは慥で日本の對露輸出組合も本年中には同地に見本展示會を開く意氣込みで目下準備中であると

石器時代の遺跡と遺物（中）

營城子を中心とした

ウラタ・シゲマツ

牧城と城山の兩遺跡地は私がまだ踏査してゐませんが牧城の遺跡地は前牧城驛保線丁場（皇家河子と營城子の中間）の附近にあるのだらうと思ひます。城山は長嶺子保線丁場（營城子と龍頭の中間）から東四キロの所にあります、城山は營城子會と三澗堡會の境にありますから、遺跡地も兩方にまたがつてゐるだらうと思ひます。

石器時代の遺跡地には石棚（ドルメン）があります。石柱（メンヒル）があります。石塚（ケールン）があります。貝塚があります。遺物包含層があります。遺物散布地があります、石棚と石柱は石器時代の墳墓で、巨石崇拜から出發した遺物です。ピラミッドほどまでは行かないが、大きな仕事を殘したものです。亮甲店や萬家嶺などに發見されてゐますが、惜いことに營城子では發見されてゐません。石塚も石器時代の墳墓で主として山の頂上にあり、直徑三四十センチ以上の石を積重ねたものですが營城子會內にあるといふ話を聞いてゐますがまだ實見しません

◇

貝塚は石器時代のごみ捨場です貝殼が多くあるから貝塚といふのです。しかし幾ら石器時代の人々だからと言つて傳說にあるやうに貝ばかり食べてゐたものではありません。魚も食べました、鳥や獸も食べました。果物や穀類や野菜も食べたであらうと思ひます。これ等の食べ殘りも無論あつたのでせうが、腐り易いものから腐つて、腐りにくいものが殘つたのです。それで貝塚といつても貝殼ばかり出すものではなく、魚の骨、蟹の爪、猪の牙。鳥や獸の骨といつたやうなものが交つてゐます。又石器や土器も出ます。

◇

營城子會では文家屯と龍頭山に貝塚があります。双紀子山やその他の遺跡地にも貝殼はありますが、貝塚と呼ぶほどに豐富ではありません。私が文家屯の貝塚から拾つて來た貝殼には、はまぐり、あさり、かき、かゞみがひ、おきしじみ、さるぼう、あかにし、つめたがひ、すがひ、いしだたみなどがありました。貝は見付かつても逃げないからこの時代の人達には貴重な獲物であつたに違ひありません。

◇

遺物包含層は石器時代の居住跡及びごみ捨場です。石器土器その他の遺物を含んだ層があつてその上を覆土でおほうてゐますこの包含層が農夫のすき先などで掘りかへされたりして遺物が包含層以外に散らばつた土地を遺物散布地と申します。又石器時代の人々が狩獵やその外の關係で落した遺物を見附ることがあります。そんな所も遺物散布地と申します。前に述べた各遺跡には遺物包含層があります。遺物散布地は各所にあります。

コドモページ 成績紙上展覽會

私のお人形

松林小學校三年 川口榮子

私のお人形は、日本人形とせいやう人形、みんなで、三人おります。前に、妹が日本人形を下さいといつたのでやりましたから今では、せいやう人形ほかありません。

私のせいやう人形はそれはそれはかはいいかほをしてゐます。あかいほつぺたに青いお目が大きく光つてゐます、そしてねかすとママーつていひます、又グードバイでもいひます。

私はグードバイつてへんなことをいひますからねえさんに「グードバイつて何ていふこと」つてきくと姉さんは「さよならつていふことですよ」つておしへてくれました。

私はお友達にお手紙を出す時はいつもグードバイと書いて出します。

ゑんそくのまへの日

伏見臺小學校尋二 西鄕さちか

せんせい「さあ、まつすぐにおなりなさい」
せいと「はい」
せんせい「さあ、これからおはなしをしますからみんなよくきいていらつしやい」
みんな「まあ、うれしいわ」
せんせい「あしたはゑんそくにいきます」
さちか「どこへゑんそくですか」
せんせい「かかかしにゑんそくにいくのです」
はつえ「あしたえんそくならおくわしもつてきていいでせう」
せんせい「もつてきてもいひですが十せんより下もつてきたらいいでせう」
みやへ「そしたら私いいものもつてくるわ」
さちか「私もいゝものもつてくるわ」
はつえ「私、なつみかんと、チヨコレートと、キヤラメルもつてくるわ」
さちか「私も」
ひさ子「せんせいあしたは、なんじなんぷんにしゆつぱつですか」
せんせい「七じ三十ぷんにしゆつぱつです」
さちか「そしたらきしやにのるのは、なんじなんぷんですか」
せんせい「八じ二十ぷんでありますよ」
みやへ「あら、ずいぶんはやいわね」
はつえ「そうよ、だからあしたねぼうしたらいけないのでせう！」
せんせい「そうです、だから七じにかゝかしへきたらいいです」
みんな「七じにがくかうへきたらいいわねえ。きつとおくれないやうにくるわ」
ひさ子「もう、かへつていいですか」
せんせい「もうかへつてもいいです、おうちへかへつて、おごちそうこしらへて、おもらひなさい」
みんな「せんせいさやうなら」
せんせい「さやうなら」

初夏のたのしみ

金州小學校高二 白石繁野

燃えたつ綠の春のながめも、アカシヤの花のちるにつれて、いつのまにか夏らしい氣分にひたる樣になつた。立ち並んで居る家々の庭には、美しい、とりどりの花が朝夕めぐんでくれる水をいただいて、勢ひよくりつぱにやさしい、しかも、よい香をはなつて、人目を樂しませてくれる。夏らしい壯大な空には、白雲がたゞよつて、太陽は下界をやさしい手で靜かになでゝにこにこと西の山の端にかくれて行く、夕方は、涼しい風が吹いて來てほんとうに氣持がよい。長い冬ごもりで、ペチカのそばにくるまつてゐた人々も、春から夏と、自然の風景にさそはれて、遠い處まで見物に出かける樣になつて來て、たのしい日を過ごす日が多くなつた。そうして人々の身體を丈夫にしてくれる幸福の世界ともなつたあゝ夏は我々にとつては樂しい時節で、此の時こそ、うんと、日光にあたつて黑い上にも黑い身體となりませう。

赤ちゃんのけんくわ

蓬萊小學校尋五 宮城富美子

此の間のこと、田川さんの今年四つの陽ちゃんが三りん車を持つて遊んでゐた。それを見た山崎さんの三つの高ちゃんがそれをかせといつて中々きかない。それを見た圭ちゃんはいそいで自分の內へかえつて高ちゃんの三りん車を持つて來たがどうしてもようちゃんのでなければいけないと言つて陽ちゃんのを取らうとする。又陽ちゃんもちよつとくらいかせばよいのにどうしてもにぎつてゐてかさない。とうとう二人はけんくわをはじめた。私はそれをとめたが中々やめない、信子さんも高ちゃんをおんぶしてあやしてゐたがしまひに高ちゃんは泣きだして信子さんのかみをひぱる。そうすると內の赤ちゃんまでもびつくりして泣き出す。手のつけようもない事になつてしまつた。それで高ちゃんを內のうば車にのせた。すると內の赤ちゃんが小さいくせに高ちゃんがわるいといふ事がわかつたのか入るといきなりたたきつけた。そうすると高ちゃんもかほをかきむしる。私は此の赤ちゃんたちのけんくわを見てゐたが、かわいゝものだと思つた。

自由畫 嶺前小學校一年 上野道子

カカカシニイツタコト

松林小學校二年 カツラヒロコ

私ハオトウサント、キシヤニノツテ、カカカシニイキマシタ。マドノトヲアケテミテヰマスト、ハヤシノヤウニ木ガイツパイハエテ、ソノ中ニ チイチヤイオウチガ タツテヰタノデ 私ハオモハズ、ココロノ中デ、アカイオウチノウタヲウタヒマシタ。又イイケシキヲ見タリシテ ヨウヤクカカカシニツキマシタ。キシヤカラオリテ見ルト 人ガ一パイナノデ オトウサンガナンゼンニングライダトオツシヤイマシタ バシヨニツイテオトウサンニ海ニハイツテイイデスカトキキマストハイツテハイケマセントオツシヤツタノデナンベンモ「アンナニイツパイハイツテイルノニ」トイヒマストハイツテヨロシイトオツシヤツタノデ、私ハ大ヨロコビデ、海ニハイリマシタ。ソシテオモシロイオシバイヲミテカヘリマシタ。

ひよこ

大正小學校四年 田中末松

二十六日の朝、お母さんが「ひよこがかへつたよ」とおつしやつた。僕はいそいで外へ出た。ひよこは「ぴよぴよ」と鳴いてゐる。親鳥の羽の下からかはいゝ聲で鳴いてゐる。僕はきびを手につけてひよこの口の先に持つて行くと口ばしで手のきびをつつきだした。お父さんは朝からあみを買つてゐらつしやつた晝のあいだにもう小屋が出來あがつた。ひよこはうれしさうに小屋の中で兄弟仲よく遊んでゐる。

私の町

朝日小學校二年 木村將衛

ぼくらの町は大れんです。大れんは大ひろばがまんなかになつてゐます。道が四方に通つてゐます。町のりやうがはには木がならんで大男のやうにたつてゐます。あをあをとしたはがせいのたかさもおなじにうえてあります。大れんの町にはすいげんちもあればほしがうら、ろうこたん、でんきゆうえんもあります。こんなところにさくらの花がきれいにさいてゐます。はるになればよその人だちがおはなみにいきます。ふとうにはたくさんの舟がならんでついてゐます。

エレベーター

大廣場小學校四年 前澤誠一

僕は手工の時間に何をつくらうかと先づ考へた。家をつくらうと思つて始めた。形はよく出來たが、角の紙をはるのが中々むづかしい。內に歸つてゆつくりこしらへやうと思つて。まあ敎室で出來るだけ一生けんめいにしたが、ぐちやぐちやになつてこはれたけれどがまんしてつくつて居たが、とうとうがまんがしきれなくてやめてしまつた。これではだめだ、しようと思つた事は何事も出來ないことはないと思つて、何か一つでもいいからしとげやうと決心した。其の次の日の夕方何の氣なしに向ひのナニヘホテルの前を通つた、ちようどエレベーターが下りて來た所であつた。その時少し考へた「一つエレベーターをつくらう」と思ひついて大急ぎで家へ歸つた。そしてボール紙を買つてつくりはぢめた。一生けんめいにつくつた末、とうとう作り上げた。僕は大喜びで翌日學校へ持つて行つた。今でもそのエレベーターは殘つて居る。

自由畫 伏見臺小學校尋一 須藤亭

童謠

夜中

大廣場小學校二年 柴田正一

僕は每ばん
ねる時に
あんよものばし
手ものばし
ちやんと上むいて
おなかまで
おふとんかけて
ねるんだが
ママにきいたら
夜中には
おふとんけるし
まくらもはづす
右へころぶし
左へ行くし
なんどもママが
なをすんだつて
僕のからだが
おもいから
ママがへいこう
するそうだ
僕はちつとも
しりません
朝日がさめると
ちやんとして
ゆうべのまんまに
ねてゐます

お祭り

聖德小學校四年 木村吉孝

おまつりまつりだ
まつりだよ
おみこしさまだよ
みんなでよ
かたにかつぐよ
うれしいな
かつぐよかつげよ
わつしよいだ
かたにかついで
わつしよいだ
あるけよあるく
うれしいな
はしれはしれよ
うれしいな
よいさよいさで
ばんざいだ

やさいやの車

金州小學校尋二 戶崎巖

やさいやの車は
いろいろだ
とまとやにんぢん
赤いべべ
だいこんかぶは
白い色
はくさいしゆんぎく
みどり色
まるいおいもは
うすももいろ
やさいやの車は
きれいだな
赤白まぢつて
きれいだな。

鋭利な西洋剃刀で船大工、妻を斬る

履物がある、ないの爭ひから七日夜飛驒町の慘劇

七日浪速町邊に人の出盛る午後の八時半、飛驒町の宵闇に突然絹を裂くやうな女の悲鳴が起つて又しても惱ましい夏の夜の慘劇が演じられた、場所は飛驒町五番地檜山勇二郎方で、同家に六つになる子供を預けてゐた愛媛縣温泉郡神和村大字二上三四四前田久太郎（四〇）——露西亞町で船大工をしてゐた——同妻ナツ（三五）——逢坂町相生樓で仲居をしてゐた——は大連に見切りをつけて明朝仁川へ向ふ陰鬱な晩餐を終つて間もなく履物があるないの一寸した爭ひから久太郎は西洋剃刀でナツの左の手首上膊五センチ深さ二センチ、後頭部に長さ十八センチ深さ五センチ横走傷を負はせ第一頸筋を切斷した、急報により大連署では直に檢證に向ひ奧町派出所に自首した加害者を留置の上、被害者は唐澤病院に入れたが後頭部の傷が致命傷となつてナツは遂に絶命した

加害者自首

腋臭から世を悲觀 六日夜三度も自殺を圖る

犯行の原因は、久太郎が惡かつたくといふのみで口を緘して語らぬため未だ不明であるが被害者ナツに附添つて唐澤病院にゐる檜山の語るところによれば

久太郎は常にワキガを氣にしてこの病氣があるので誰にも嫌はれると悲觀し世をひがみ、働く場所でさへ面白くない模樣で、愈々夫婦で仁川に引揚げる決心をしてゐたが、六日夜も三度首を吊つて死に切れなかつたと首についた繩の傷を見せたり、同夜も食事の時ナツに向つて、今俺が死ねば喜ぶものがあるだらうが子供が可愛想だなどといひ出し夫婦で口論をしたといつてゐる

原因は 精神的發作か

又相生樓の帳場の者は七日朝久太郎が別れの挨拶に來た時突然「ラジオがかゝつて歸れといつてゐますから」などゝ口走つた事を思ひ合せ精神に異常があるといつてをり且つどの方面から聞いてもナツの平常は堅く夫婦仲がよいとの評判で痴情關係の相當深い理由があるかも知れぬが世間では精神的の發作による犯行だと見てゐると語つた

柔劍道試驗の委員決まる

從來十月初旬に擧行されてゐた武德會武道階級試驗は既報の如く十三日午前九時より大連警察演武場十四日午前九時より奉天警察演武場に於て擧行、當日は何れも一般に公開の筈であるが、受驗資格者は二級以上で三級以下のものは各支所長の推薦を要し、尚受驗者は各所長がまとめて名簿を出す事になつてゐる、試驗方法は試合、地稽古を五とし時に學科を課す場合もあると因に試驗委員は左の如く決定した

大連▲柔道（大木、山田、前田、山根）▲劍道（小關、高野、木村、大內）

奉天▲柔道（大木、山出、平田、梶）▲劍道（辻、松島、杉目、林）

庭球大會成績

市中武運拙く雪辱成らず

滿鐵軍遂に優勝

【夕刊續報】七日の本社主催市中對滿鐵第三回庭球大會は引續き午後より殘つた市中側四勝者滿鐵側七勝者の第二勝戰あり白熱的ゲームに觀衆は熱狂的な聲援を送り市中側は松本野中組孤軍奮鬪能く努め松本のカツチングサービイスと前衞野中の活動にて敵の三組を續け樣に屠つたが齋藤大石組に惜くも敗れ滿鐵側は吉丸川原組を殘して優勝、本社優勝旗は再び滿鐵小原主將の手に渡された戰ひの後兩軍選手一同ビールを拔いて乾盃滿洲日報社の萬歲を唱へて散會した時に四時三十分二勝戰後の成績左の如し

市中（山田 脇本）二—四 滿鐵（印牧 樋口）

（松本 野中）四—一（鹿野 下重）

（藤原 高櫻）二—四（齋藤 大石）

（江村 石幡）四—〇（三科 林）

（松本 野中）四—〇（臼木 岡）

（石幡 江村）一—四（吉丸 川原）

（松本 野中）四—二（北爪 關谷）

（松本 野中）四—一（印牧 樋口）

（松本 野中）二—四（齋藤 大石）

全部の取調べには今月一ぱいかゝる

參考人として藝妓十名喚問 水產界の不正事件

七日勾引された水產會前評議員加藤巳之七に對する池內檢察官の取調べは午後二時半まで行はれた、加藤は評議員たりし當時、自己の發行する「滿洲の水產」を背景として水產會社より相當の賄賂を收受したもの〻如く

收賄罪

に問はれ直に勾留狀を執行、一時大連署の留置場に留置の上、同四時二宮巡查警護の下に嶺前屯刑務支所に收容された、一方池內檢察官は加藤の取調べと共に參考人として出頭を命じた大連檢番藝妓笑子外九名を順次檢察官室に呼び入れ佐治、川上一味が待合よし家、同千草等で豪遊した當時の模樣及その席に連座した人の顏觸れその他に就き

證言を

徵する處あり、午後四時一應取調を終つたが事件はまだ何處まで進展するものか胸中深く秘めてゐる池內檢察官は「全部纏めて締きをかける迄は今月一杯かゝるだらう」と語つてゐた

全鮮軟球選手招聘に應じ來連

全滿鐵、全大連と對戰

全朝鮮軟球庭球選手一行十八名は滿鐵軟球部の招聘に應じ十日夕京城出發、十一日午後八時三十分大連着の筈であるが、一行の試合豫定日及び選手は左の如くである

十三日午後三時 對大連滿鐵軍

十四日午後一時 對全滿鐵軍

十五日午後三時 對全大連軍

場所北公園滿鐵コート

村上（鮮銀）中川（滿鐵）張

三上（道廳）渡邊（道鐵）鄭士（道鐵）

金（官）黃（殖）鄭元（商）

野副（銀）吉村（銀）劉（銀）

洪（商）鍵谷（鮮）長沼（道鐵）

孫（銀）中川（銀）秋山（道鐵）

監督 馬渡 總務 赤木

因に同チームはかねて定評のあるかつて早稻田庭球王國を造りし時の主將三上等全朝鮮の精鋭をすぐりたるものなれば可なりの接戰が演ぜられる事であらう

追善演奏會

一粲會主催一樹會後援で故三原順三氏追善演奏會を十四日開催、會場は大連機械製作所俱樂部で入場隨意

保健をめざす星ケ浦家族會館

愈よ十日から開らく

滿鐵の社會課ではこの十日から「星ケ浦家族會館」と云ふのを開くことゝなつた、場所は星ケ浦温泉前のもと臼井氏宅で大連に居住する人々の家族の保健を考へて一般に開放することゝなつた、尚餘裕ある時は沿線の滿鐵社員家族の宿泊にも應ずると云ふ、開館時期は七月十日から卅日迄で、室は十四室、室代は

	午前	午後	建物
四疊	四〇錢	六〇	七〇
八疊	六〇	八〇	一〇〇
十二疊	一二〇	一二〇	一五〇

尚一人を增す毎に四疊は二十錢、八疊は三十錢、十二疊三十錢と云ふ內わけ、食費は三食で八十錢、寢具は一日一組十五錢、なほ宿泊者でも保護者の同伴せぬ老幼病者及び疾患あるもの、一般傳染病者は謝絕すると、申込みは滿鐵及社會課又は星ケ浦家族會館宛のこと

賑つた七日の眞砂浦

不夜城と化して星ケ浦納涼園愈よ開く

來る十三日から八月十八日迄

南滿電氣並に滿鐵社會課主催となり豫て計畫中であつた星ケ浦納涼園は愈來る十三日より八月十八日まで三十七日間、毎日午前七時より午後十時まで開かれることになつた、場所は星ケ浦遊園東海岸ヤマトホテル下廣場で遊園正門を入口とし別莊の西側に沿ひ海岸に至る道路より下り東は濱濱館、西は龍宮堂賣店に至る海濱一帶を會場とする筈である、滿電では一千キロワツトの

燈光器

で照明をなし全部で約五萬キロの納涼用イルミネーションを點ずることゝなつてる、尚園內の設備としては脫衣場二、洗體場二、賣店四、水族館及附屬賣店の外ブランコ、辷り臺、金棒等を設備するほか會期中は隔日位に活動寫眞、花火、音樂の演奏會を催し一般納涼者の興を添へる筈であると

エ提督死去

【ワシントン六日發電】元アメリカ太平洋艦隊司令官エドワードウオルター、エバール提督は傳染性疾患のため本日死去した

加州野球團布哇で勝つ

【ホノルル六日發電】日本遠征の歸途に在る加州大學野球團は本日當地にてエルクスを十二對四で破つた

車道を横切り女轢殺さる

昨日浪速町三丁目でリリータクシーに

八日午後二時十分ごろ大連浪速町三丁目一〇八梅園前車道において大連民政署稅務係森梅松內縁の妻春井アエ（四七）は向ふ側へ横切らんとして伊勢町方面より疾走して來た奧町二八リリータクシー運轉手李緒臣（三〇）の操縱する客自動車に右肩より突倒され仰向けに倒れた處を更に同車の左車輪で頭部および

胸部を

轢かれ二、三間引き摺られて人事不省に陷り自動車は惰力により更に步道に乘り上げ胡藤並木に衝突して漸く停止した、この騷ぎに附近の人々駈け付けアエを滿鐵醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが、腦震盪並に內臟破裂により蘇生しなかつた、急報に接し檢察局より春木檢察官事務取扱、大連署より新妻警部補吉岡部長一行現場に出張し檢證の上、加害者李を傷害致死犯人として引致した

妻の遭難を知なかつた

同道の夫語る

右に關し加害者運轉手李緒臣は被害者フエの姿を發見し右に避けんとすれば右に來り左に避けんとすれば左に來るので停車せんとしたが、生憎またブレーキかゝらず遂に惰力によつて轢いて了つたと語り被害者の夫森氏は悲嘆の淚に暮れながら

妻と一緒に買ひ物に出て梅園の前から向側の浪速館の方へ移らうと自分が先に立つて横切つた處が何時まで立つても妻が來ないので後を振り返つて見たら妻は既に轢かれて了つてゐたので當時の模樣は薩つ張り判らないと語つてゐた、尚死體は解剖に附する模樣である

渡歐の兩理事歡迎會

大阪自由通商協會理事岸本彥衛、田口八郎兩氏は商況視察のため渡歐することゝなり九日入港のうらる丸で來連、ハルビン經由で歐洲に向ふが、大連自由通商協會では兩氏歡迎會を九日正午ヤマトホテルで開く筈

モヒ注射で死亡

小崗子德政街七六傅忠賓方傅鄭氏（四八）は〻て肺病で苦しんでゐたが七日午後六時奉天市場第三區西一一水汲人夫李德明（四二）にモヒ注射をして貰つた處當夜急に苦悶を始め午後十時遂に死亡した

函館地方に急激な地震

五分間繼續す

【函館七日發電】七日午前三時半當地に急激な地震あり五分間繼續した

印度人宿料踏み倒し

大連山縣通り一三八モデルホテル止宿印度人ジヤコルジン（三七）は五月六日より七月六日までの宿泊料九十八圓三十三錢を不拂のまゝ六日夜八時頃逃走したので七日大連署へ詐欺の告訴をされた

排日取締が對支交渉の先決問題

長江筋邦人の要望

【上海七日發電】支那の排日運動は未だに熄まず國民政府も其取締に誠意を見せず我國との約束を破り兩國の親善を破壞しつゝあること明瞭なりとして長江筋在留民多數の意嚮は排日取締に誠意を示さぬ間は條約改訂交渉を開く要なしとして幣原外交の皮切に先づ排日問題を先決條件とし國民政府に先づ頂門の一針を刺すべきことを新內閣に期待してゐる

奉天附屬地に二人組强盜

現金六百餘元を强奪

【奉天特電七日發】久しく强盜の姿を見せなかつた奉天附屬地にもまだ人出の多い七日午後九時五十五分頃松島町一番地支那雜貨商興隆事謝東陽方に三十歲前後のパナマ帽を冠りブローニング拳銃を所持せる二人組の强盜押入り家人を脅迫して現大洋六百元、奉天票八十元を强奪し奉天驛方面へ逃走した、奉天署では直に非常線を張り犯人搜査に努めてゐるが未だ逮捕されぬ

船舶試驗施行

來る八月十日頃大連海務協會に於て施行する筈の第九回臨時船舶職員試驗について今回遞信省より協會へ受驗者の科別員數を紹介して來たさうであるが、當局者は着々その準備を進めて派遣試驗官も決定發表する筈であると、なほ八日迄協會へ受驗の申込をなしたる者甲板部九十三名、機關部四十五名計百三十八名の多數に上り從來に見ない成績である、未だ申込をなさない受驗希望者は此際至急協會へ申出られたいと

けふのラヂオ

昭和四年七月九日（火曜日）

自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式各地相場）ニユース

自午後三時五十分 野球連絡放送（滿俱對寶塚第一回戰）

自午後七時三十分

一、ニユース

二、支那語講座「實用支那語會話」（滿鐵學務課）秋父尚太郎

三、長唄「吾妻八景」（唄）大森夫人（三味線）杵屋正春（上調子）（高山席）光榮

四、俚謠「安來節」（コノエ會）梅家千兩

五、支那劇「鳥盆計」（滿東俱樂部々員）

六、料理獻立

七、天氣豫報

ゼ社の生產 一ケ月三千四十七臺

六月中に日本ゼネラル・モーターース大阪工場はシボレー・ビウイク其他を併せて總生產高三千四十七臺といふ新記錄を作つた。今では東洋に於る最大製造能力ある自動車工場となつた

愛慾の窓(33)

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

生活の淵(一三)

「…、御心配には及びませんよ、運轉手にはさう吩咐てありますから、牛込のお宅の御近處へゆけば知らせてくれます」

小森はさう云つて、にやく\と笑つた。醉ひにほんのりと眼瞼を染め、濡れた唇には葉巻を銜えて、英輔はおちつき拂つてゐた。

「……先刻のお話は、何うですから、アラウネの一件は……?いや、實は僕、あなたには一度ゆつくりとお會ひしたかつたんですよ」

彼は云ひはじめた。

「……わたしも、一度ゆつくりお目にかゝつて、いろく\お話をしたいと思つてゐましたわ」

と、美知子も云つて、小森の顔を見返した。

「……ほう!さうですか、それは好い都合だつた!」

と、英輔は美知子の言葉を意外に感じて、おぼえず眼を輝かしたが、

「……僕はまた、あなたが僕のやうな人間を忌避なさりはしないかと思つて」

と悦に入つた面持ちだ。

「あら、何うして?わたし、あなたを初めてお目にかゝつた時から好いてゐましたわ!ほゝ、でもそんな云ひ方をしてはいけないか知ら……?」

美知子はさう云ひながら兩手の掌で自分の頬を挟むやうにした。

「……わたし、まだ子供なんですのよ!だから物の云ひ方も何も知らないんですの!教へて下さいましね、わたし、心からあなたにお願ひしますわ、わたし、ほんとに何も知りませんのよ」

「……はゝ、あなたはとても可愛らしいなあ!何て可愛いことを云ふんだらう!」

英輔は、さも可愛くて堪らないといふ風に叫んで、つと腕を伸ばすと、美知子の手を握つた。が、美知子は別段その手を引つ込めようともしないで

「……聴いて下さる?」

「えゝ、あなたの仰有ることなら何でも!」

英輔は彼女の指をまさぐりながら、熱ツぽい眼で食ひ入るやうに美知子の横顔に見入つてゐるのだつた。

「……わたしのパパは、もと或刑務所で――その時分は監獄と云つてたんですね――基督教の教誨師を勤めてゐたことがありますのよ」

と、美知子は靜かに語りはじめた。

「その時分にね、強盗殺人といふ怖ろしい罪を犯した男の人が、死刑に處せられることになつたんださうです……。で、わたしの父は、最後の祈禱をその不幸な男のために天國の父なる神に捧げてやつたのださうですが、兇悪無殘なその男は、死刑の直前まで、罪を懺悔するやうな様子はなく、また少しも悪怯れないで、刑の執行を受けたといひます……。が、その男には、病床に臥してゐる妻と、まだ漸く乳離れのしたばかりの子供が有つたんです、男の子でした」

と、美知子は次第に沈んだ瞳で語つて來て、そこで言葉を休めた。心做しか、彼女の顔色は、またさらに青ざめたやうである。

「……その男の子が、わたしの現在の弟龍吉なので御座います!父は、教誨師として、その死刑囚の遺族を訪れ、何くれとなく世話をしてやつたやうですが、やがて幼い子供を殘して、病氣の母親も世を去つたのですね。で、自然、わたしの父は、その孤兒を自分の懐に引取るより他はなかつたのでせう、わたしの家庭へ連れて來て、育てることになりました。その時、わたしは漸く三つでした。その罪人に殘された子は、そこで一つ年下のわたしの弟として、わたしの家庭の立派な一員となつたわけです……」

七月川柳課題

七月十日締切「暗號」篠田醉蕾選
七月十五日締切「煽風機」高橋月南選
◇用紙はがき必ず別記のこと
滿日文藝係

新刊紹介

▲謎の人形師(佐々木味津三著) 佐々木氏の長篇大衆小説は既に定評があるが、本書は幕末に材をとり義氣、悲戀、妖氣、陰謀、縦横に交錯して感興横溢する讀物である(四六版四七二頁一圓三十錢東京市麹町區下六番町平凡社)

▲ユダヤ禍の迷妄(滿川龜太郎著) ユダヤ人研究に造詣の深い著者がユダヤ禍の迷妄を打破する目的にてその恐るゝに足らざることを明にしたもの、前編ユダヤ正觀編ではユダヤ人を赤裸々に解剖してゐる(四六版二六六頁東京麹町區下六番町平凡社)

▲明治大正、實話全集第一巻 本巻には悲戀情死實話を收む、有島武郎、野村隈畔、北川三郎、芳川鎌子、抱月須磨子等の情死事件を極めて巨細に麗筆で叙してゐる(四六版四八五頁同上)

▲同第八巻 現代人は端的な刺戟赤裸に於て本全集は時宜に適ふた全集であり、本集には今に我々耳目から消えやらぬ生々しい大膽な而も巧妙の限りを盡くした代表的の詐欺横領の實話を多數蒐めてゐる(同六一四頁同上)

▲凡人愛の苦行(石丸喜世子著) 凡人から浄土への道それは愛の苦行であり、行そのものゝ中に凡人の救と光明とがあらう著者のかゝる體驗、思索を輯めた感想集である(四六版二三三頁千葉市寒川新宿人生創造社)

▲藝術寫眞の知識(中島謙吉著) 前後八年に亘る研究の結果上梓したもので本書では主として藝術寫眞の精神を説き概念を詳述してゐる、寫眞六十四葉を添ゆ(四六版二四〇頁、東京神田區今川小路アルス)

▲殘花一輪鐵血(戰記名著集第一巻) 前者は市川少尉の手になる日本海の大海戰、後者は猪熊中尉の物した旅順攻落戰、奉天大會戰等の内容を有つ出版當時白熱的大歡迎を受けた讀物である(四六版五百五十頁東京神田區錦町戰記名著刊行會)

▲白蝶秘門(高桑義生著) 目下報知紙上に連載して大好評を博してゐる德川幕府初期の史實に材を採り極めて興味津々たるもの後篇も何れ現はる筈(四六版四六四頁一圓三十錢東京麹町區下六番町平凡社)

▲鷗外全集第五巻 氏の處女作うたかたの記を初め後期に至る三十八篇の創作小説を輯む、何れも珠玉の文字燦然と光輝を放ち不朽の著作のみたること萬人の知るところ槊説を要しない、全くこの普及版あるは讀書界の福音である(四六版五五〇頁東京麹町區内幸町鷗外全集刊行會)

▲農業世界(七月號) 東京市日本橋區本石町三丁目博文館(定價四十錢)

▲東方之國(七月號) 東京市麻布區[illegible]町東方之國社(定價三十五錢)

▲社會研究(七月號) 大連市松山臺五滿洲社會事業研究會(定價六十錢)